

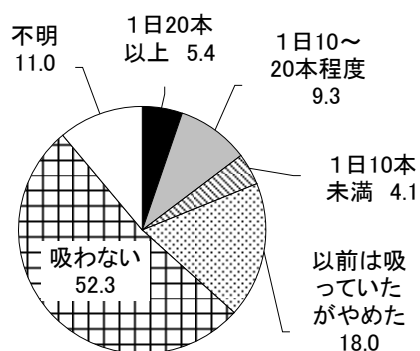
F たばこについて

F1. 喫煙度合い

[設問]

Q 1 あなたは、たばこを吸いますか。(○は1つ)

[回答結果(全体)]



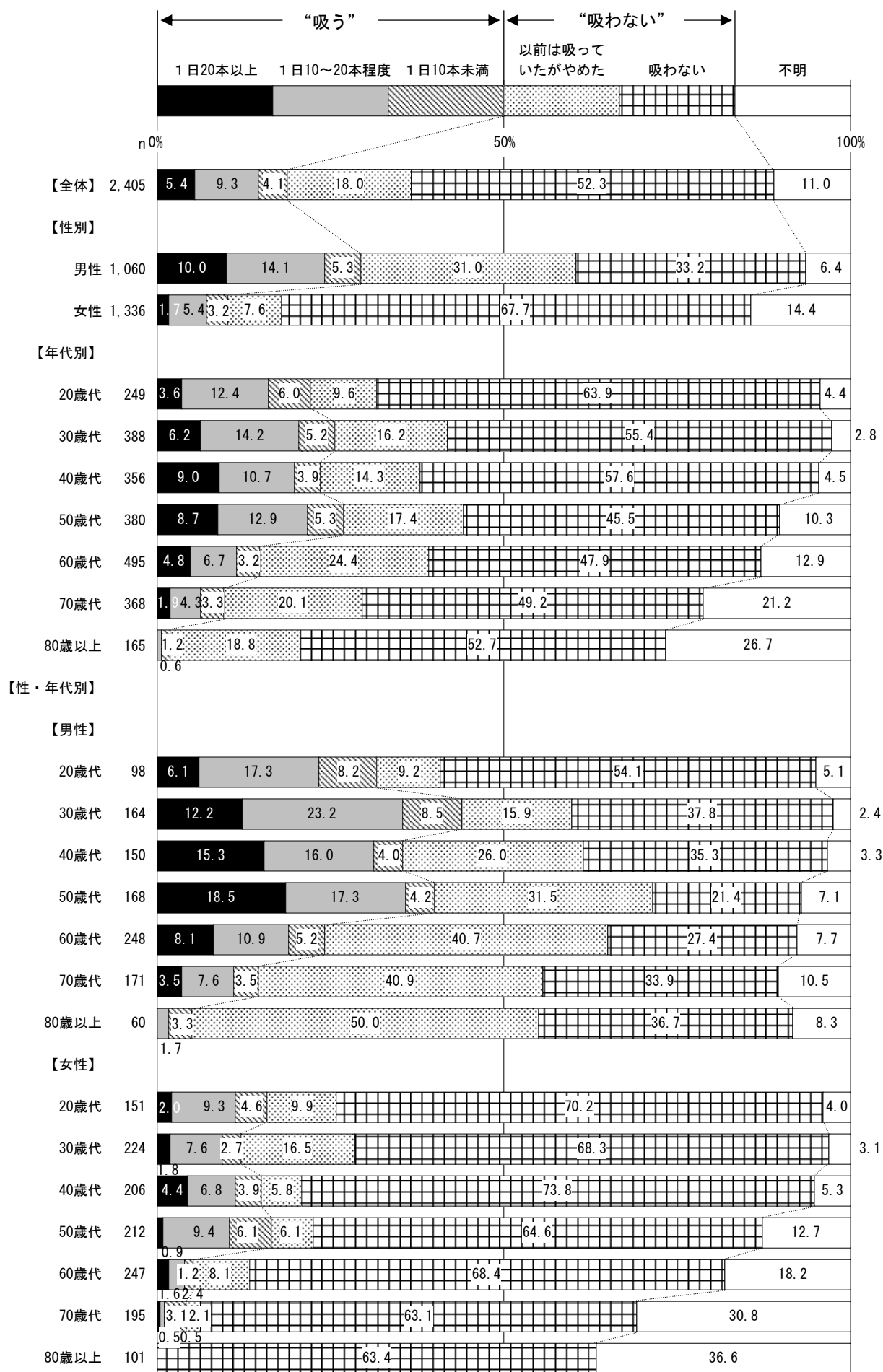
N=2,405人

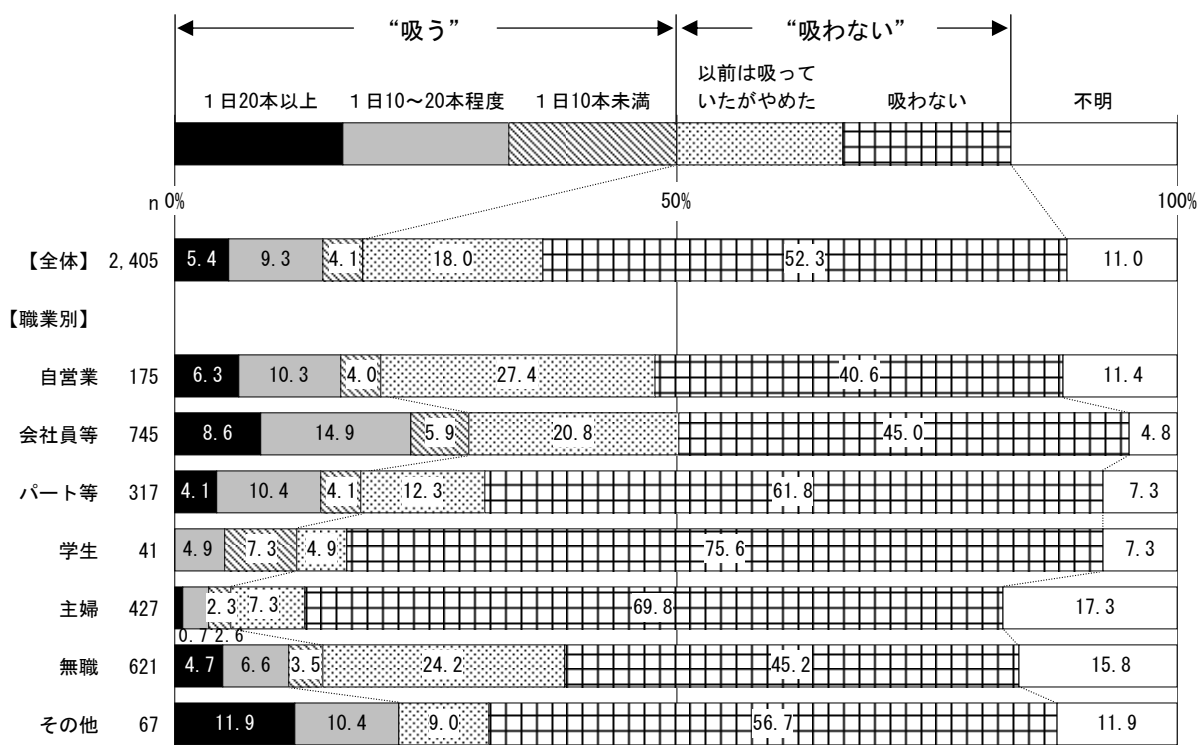
回答	今回調査		前回調査 (平成17年)		前々回調査 (平成12年)	
	件数	%	件数	%	件数	%
1日20本以上	129	5.4	175	7.2	195	8.5
1日10～20本程度	224	9.3	260	10.7	278	12.2
1日10本未満	99	4.1	129	5.3	125	5.5
以前は吸っていたがやめた	432	18.0	267	11.0	177	7.7
吸わない	1,257	52.3	1,532	62.9	1,472	64.3
不明	264	11.0	74	3.0	41	1.8
回答数	2,405	100.0	2,437	100.0	2,288	100.0

[回答結果(詳細)]

喫煙の有無について伺ったものである。

- ▶ “吸わない”（「吸わない」＋「以前は吸っていたがやめた」）は70.2%、“吸う”（「1日20本以上」＋「1日10～20本程度」＋「1日10本未満」）は18.8%となっている。
前回調査と比較すると、“吸う”が4.4ポイント、“吸わない”が3.6ポイントそれぞれ減少している。
- ▶ 男女別に見ると、男性で“吸う”割合は29.4%と、女性（10.3%）の3倍近くとなっており、特に「1日20本以上」の男性は10.0%を占めている。女性は“吸わない”が75.3%であり、“吸う”は10.3%となっている。
前回調査と比較すると、男女共に“吸う”割合は減少しており、特に男性で8.6ポイント減少している。一方、“吸わない”割合は男性で4.0ポイント増加、女性では9.0ポイント減少している。
- ▶ 年代別に見ると、30・50歳代で“吸う”が多く、最も多い50歳代では26.9%となっている。
- ▶ 性別・年代別で見ると、全ての年代で“吸う”は男性が女性よりも高い割合となっている。“吸う”は男性の30～50歳代で4割前後となっており、特に40・50歳代では「1日20本以上」が15～20%を占めている。
前回調査と比較すると、“吸う”割合は男女共に概ねの年代において減少しており、特に男性20・40歳代では10ポイント以上減少している。
- ▶ 職業別に見ると、“吸う”は『会社員等』が最も多く29.4%となっている。『学生』では“吸わない”が80.5%となっている。





【“吸う人”(「1日に20本以上」+「1日10～20本程度」+「1日10本未満」)／経年比較】

【性・年代別】

	今回調査		前回調査 (平成17年)		前々回調査 (平成12年)	
	件数	%	件数	%	件数	%
全体	452	18.8	564	23.1	598	26.1
20歳代	55	22.1	84	30.0	125	35.4
30歳代	99	25.5	130	31.3	119	32.6
40歳代	84	23.6	111	31.7	110	29.2
50歳代	102	26.8	110	23.1	112	24.6
60歳代	73	14.7	71	16.3	68	18.3
70歳代	35	9.5	49	14.8	59	20.9
80歳以上	3	1.8	7	5.0	5	6.0
男性	311	29.3	391	38.0	417	43.7
20歳代	31	31.6	53	46.9	70	55.1
30歳代	72	43.9	85	53.8	82	58.2
40歳代	53	35.3	75	51.7	74	49.0
50歳代	67	39.9	82	35.8	86	44.8
60歳代	60	24.2	56	28.0	52	32.3
70歳代	25	14.6	34	24.6	50	36.2
80歳以上	3	5.0	6	13.3	3	6.8
女性	138	10.3	167	12.0	177	13.3
20歳代	24	15.9	31	18.6	55	24.3
30歳代	27	12.1	45	17.4	37	16.5
40歳代	31	15.0	35	17.2	36	15.9
50歳代	35	16.5	27	10.9	25	9.5
60歳代	13	5.3	15	6.4	15	7.2
70歳代	8	4.1	13	6.9	8	5.6
80歳以上	0	0.0	1	1.1	1	2.8

【“吸わない人”(「以前は吸っていたがやめた」+「吸わない」)／経年比較】

【性・年代別】

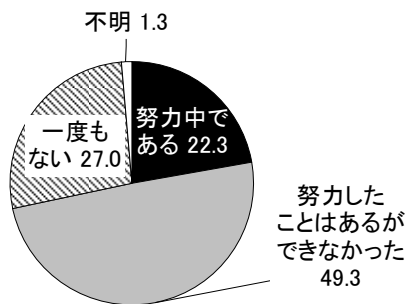
	今回調査		前回調査 (平成17年)		前々回調査 (平成12年)	
	件数	%	件数	%	件数	%
全体	1,689	70.2	1,799	73.8	1,649	72.1
20歳代	183	73.5	196	70.0	228	64.6
30歳代	278	71.6	285	68.5	245	67.1
40歳代	256	71.9	236	67.4	267	70.8
50歳代	239	62.9	350	73.4	332	73.0
60歳代	358	72.3	349	80.0	295	79.3
70歳代	255	69.3	258	77.9	209	74.1
80歳以上	118	71.5	122	86.5	73	86.9
男性	681	64.2	619	60.2	533	55.9
20歳代	62	63.3	60	53.1	57	44.9
30歳代	88	53.7	72	45.6	59	41.8
40歳代	92	61.3	70	48.3	77	51.0
50歳代	89	53.0	144	62.9	106	55.2
60歳代	169	68.1	139	69.5	108	67.1
70歳代	128	74.9	96	69.6	85	61.6
80歳以上	52	86.7	38	84.4	41	93.2
女性	1,005	75.2	1,174	84.3	1,113	83.9
20歳代	121	80.1	136	81.4	171	75.7
30歳代	190	84.8	213	82.6	186	83.0
40歳代	164	79.6	166	81.4	190	84.1
50歳代	150	70.8	206	83.4	226	86.3
60歳代	189	76.5	210	89.0	186	89.0
70歳代	127	65.1	160	85.1	124	86.7
80歳以上	64	63.4	81	90.0	30	83.3

FS1①. 禁煙・節煙への取り組み

[設問]

S Q 1 ① あなたは、たばこをやめようとしたり、本数を減らそうとしたことがありますか。
(○は1つ)

[回答結果(全体)]



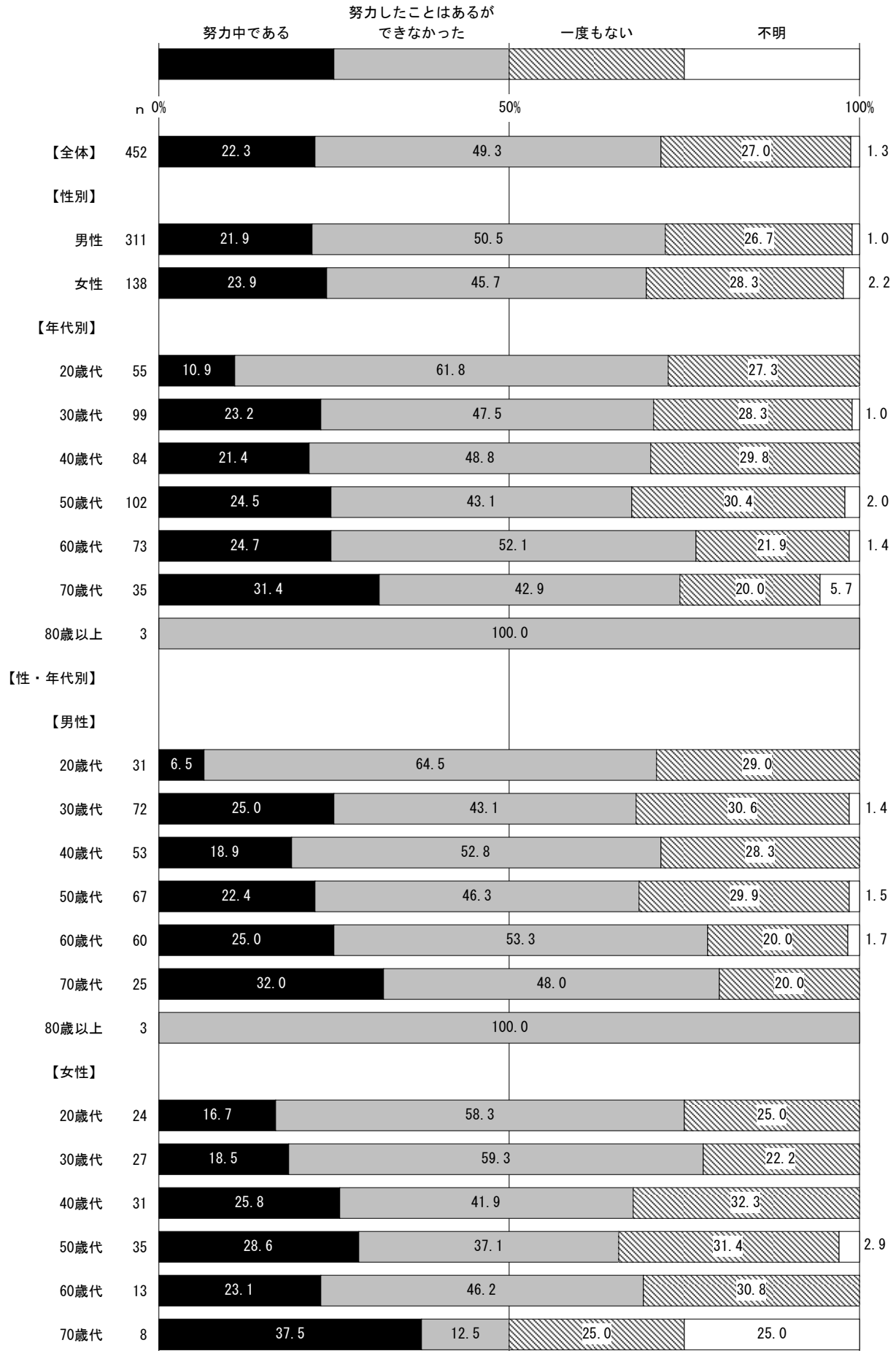
N=452人

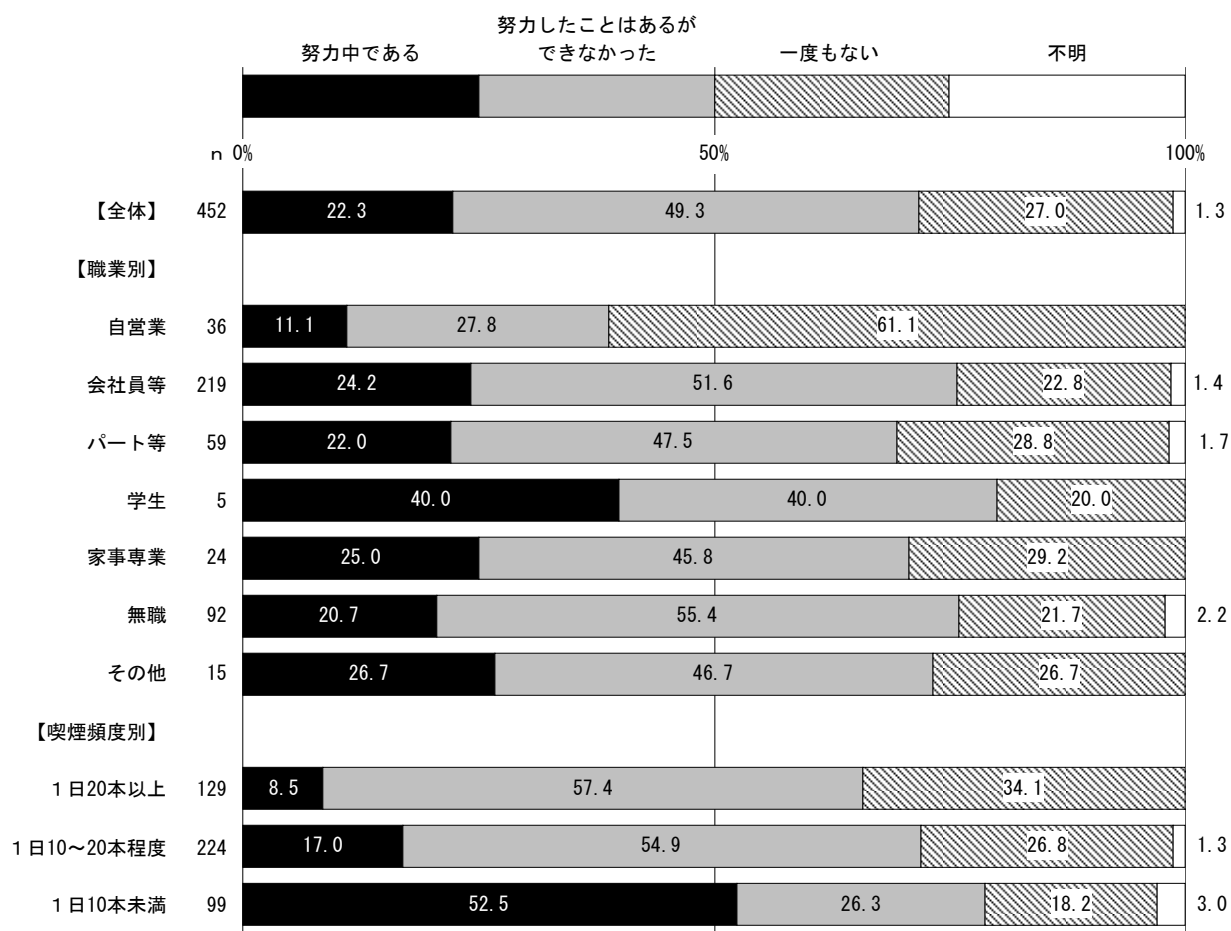
回答	今回調査		前回調査 (平成17年)		前々回調査 (平成12年)	
	件数	%	件数	%	件数	%
努力中である	101	22.3	119	21.1	118	19.7
努力したことはあるができなかった	223	49.3	291	51.6	326	54.5
一度もない	122	27.0	146	25.9	147	24.6
不明	6	1.3	8	1.4	7	1.2
回答数	452	100.0	564	100.0	598	100.0

[回答結果(詳細)]

前問Q1においてたばこを“吸う”と回答した方(計452人)に、たばこをやめようとしたり、本数を減らそうとしたことがあるかどうか伺ったものである。

- ▶ 「努力したことはあるができなかった」が49.3%と最も多く約半数を占め、現在「努力中である」が22.3%、「一度もない」は27.0%であった。
- ▶ 男女別に見ると、男女共に最も多いのは「努力したことはあるができなかった」である。「努力中である」方の割合は、女性が男性よりも2.0ポイント高くなっている。
- ▶ 年代別に見ると、20歳代では「努力中である」割合が他の年代に比べて少なく、10.9%にとどまっている。
- ▶ 性別・年代別に見ると、男女共に70歳代で「努力中である」割合が他の年代と比べ最も多く、いずれも3割台となっている。「努力したことはあるができなかった」は男性20歳代、女性20・30歳代の若年層で6割前後を占めている。また、女性の40歳以上では同年代の男性と比べて「一度もない」割合が多い。
- ▶ 職業別に見ると、『自営業』では「一度もない」が61.1%と最も多くなっており、一方「努力中である」は最も少なく11.1%となっている。
- ▶ 1日当たりの喫煙本数別に見ると、1日当たりの喫煙本数が少ない方ほど「努力中である」の割合が高い。また、『1日20本以上』の方では、「一度もない」が34.1%を占めている。



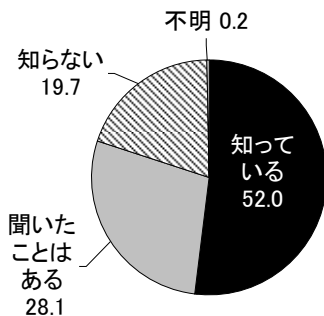


FS1②. 禁煙外来・支援、サポート事業の認知度

【設問】

S Q 1 ② あなたは、病院の禁煙外来や薬局での禁煙支援、保健所の禁煙サポート事業などをご存知ですか。(○は1つ)

【回答結果(全体)】



N=452人

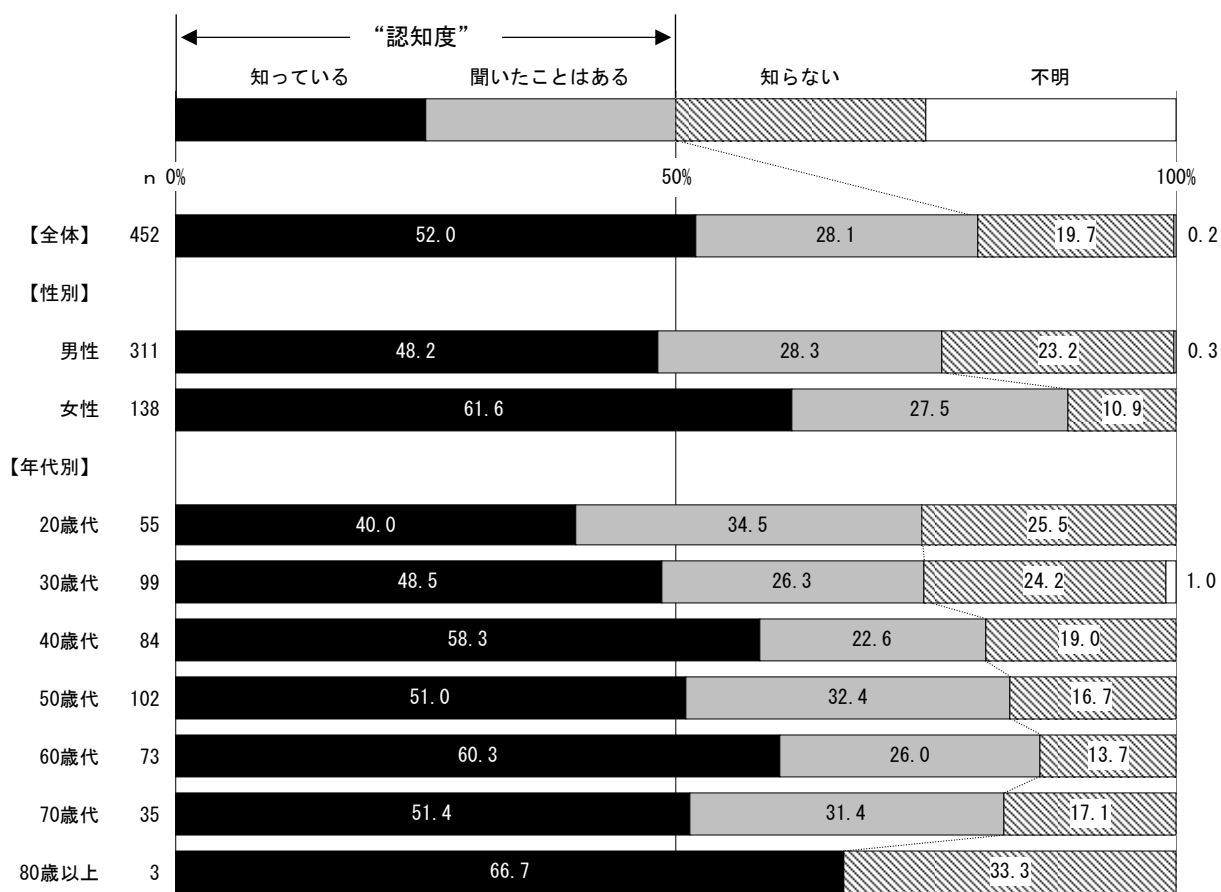
回答	今回調査		前回調査 (平成17年)	
	件数	%	件数	%
知っている	235	52.0	74	13.1
聞いたことはある	127	28.1	85	15.1
知らない	89	19.7	400	70.9
不明	1	0.2	5	0.9
回答数	452	100.0	564	100.0

※前回調査では、仙台市（出先機関含む）で実施している「禁煙サポート事業・禁煙講座」等の各種プログラムの認知度を伺ったが、平成18年より一定の基準を満たす禁煙治療に保険が適用されるようになったことや、禁煙支援を行う薬局も増えたため上記設問のとおり対象を拡大した

【回答結果(詳細)】

Q1でたばこを“吸う”と回答した方（計452人）に、病院の禁煙外来や薬局での禁煙支援、保健所の禁煙サポート事業などの認知度を伺ったものである。

- ▶ “認知度”（「知っている」＋「聞いたことはある」）は80.1%となっており、一方、「知らない」は19.7%となっている。
- ▶ 男女別に見ると、“認知度”は女性の方が高く89.1%となっている。一方、「知らない」は男性で23.2%と、女性（10.9%）の倍以上の割合となっている。
- ▶ 年代別に見ると、80歳以上を除くと、概ね年代が上がるほど“認知度”が高く、最も高い60歳代では86.3%を占めている。

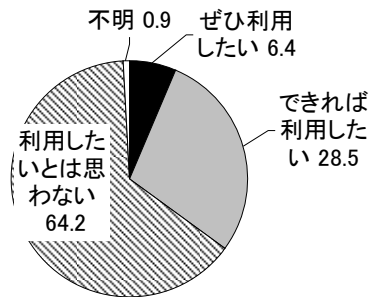


FS1③. 禁煙外来・支援、サポート事業の利用意向

【設問】

S Q 1 ③ あなたは、病院の禁煙外来や薬局での禁煙支援、保健所の禁煙サポート事業などを利用してみたいと思いますか。(○は1つ)

【回答結果(全体)】



N=452人

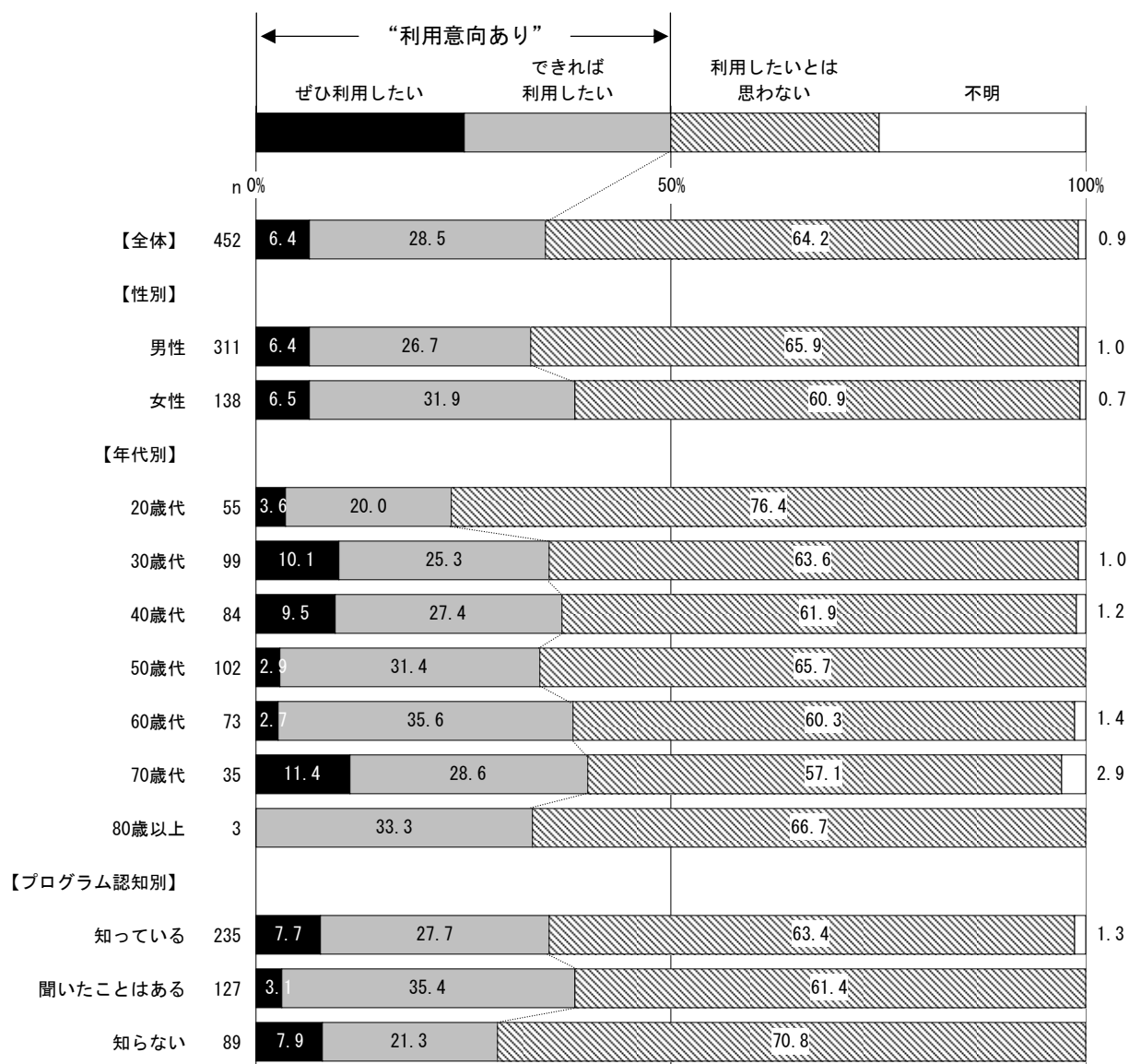
回答	今回調査		前回調査 (平成17年)		前々回調査 (平成12年)	
	件数	%	件数	%	件数	%
ぜひ利用したい	29	6.4	16	2.8	32	5.4
できれば利用したい	129	28.5	158	28.0	209	35.0
利用したいとは思わない	290	64.2	380	67.4	349	58.5
不明	4	0.9	10	1.8	7	1.2
回答数	452	100.0	564	100.0	597	100.0

※前回調査では、仙台市（出先機関含む）で実施している「禁煙サポート事業・禁煙講座」等の各種プログラムの認知度を伺ったが、平成18年より一定の基準を満たす禁煙治療に保険が適用されるようになったことや、禁煙支援を行う薬局も増えたため上記設問のとおり対象を拡大した

【回答結果(詳細)】

Q1でたばこを“吸う”と回答した方（計452人）に、病院の禁煙外来や薬局での禁煙支援、保健所の禁煙サポート事業などの利用意向について伺ったものである。

- ▶ 「利用したいとは思わない」（64.2%）が“利用意向あり”（「ぜひ利用したい」＋「できれば利用したい」）（34.9%）の倍近い割合となっている。
- ▶ 男女別で見ると、“利用意向あり”の割合は女性で高く、38.4%となっている。一方、「利用したいとは思わない」では男性が女性よりも5.0ポイント高くなっている。
- ▶ 年代別に見ると、“利用意向あり”とした方は、最も多い70歳代で40.0%となっている。一方、最も低い20歳代では23.6%にとどまっている。
- ▶ 認知度別に見ると、“利用意向あり”は『聞いたことはある』方が最も多く38.5%となっている。『知らない』とした方でも“利用意向あり”は3割近くを占めている。

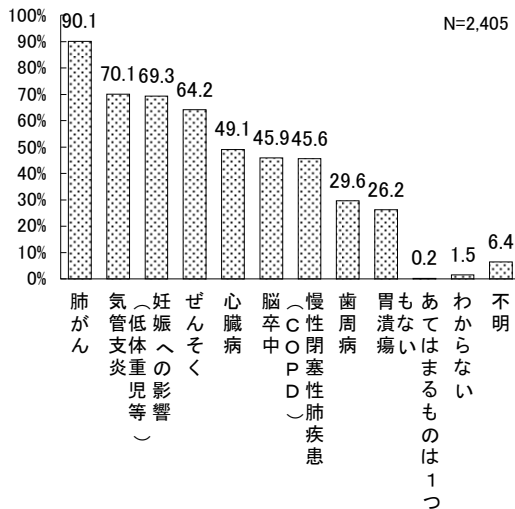


F2. たばこが健康へ及ぼす影響はどれだと思うか

[設問]

Q 2 あなたは、たばこが健康へ及ぼす影響はどれだと思いますか。あてはまるものをすべて選んで下さい。(○はいくつでも(「10 あてはまるものは1つもない」「11 わからない」と回答する場合を除く))

[回答結果(全体)]



回答	今回調査		前回調査 (平成17年)		前々回調査 (平成12年)	
	件数	%	件数	%	件数	%
肺がん	2,166	90.1	2,174	89.2	2,100	91.8
気管支炎	1,686	70.1	1,683	69.1	1,651	72.2
妊娠への影響(低体重児等)	1,667	69.3	1,775	72.8	1,681	73.5
ぜんそく	1,544	64.2	1,530	62.8	1,497	65.4
心臓病	1,181	49.1	1,310	53.8	1,155	50.5
脳卒中	1,105	45.9	1,201	49.3	814	35.6
慢性閉塞性肺疾患(COPD)	1,096	45.6	-	-	-	-
歯周病	713	29.6	743	30.5	627	27.4
胃潰瘍	629	26.2	749	30.7	748	32.7
あてはまるものは1つもない	5	0.2	13	0.5	7	0.3
わからない	36	1.5	44	1.8	40	1.7
不明	155	6.4	172	7.1	55	2.4
回答数	2,405	100.0	2,437	100.0	2,288	100.0

※選択項目が異なる。

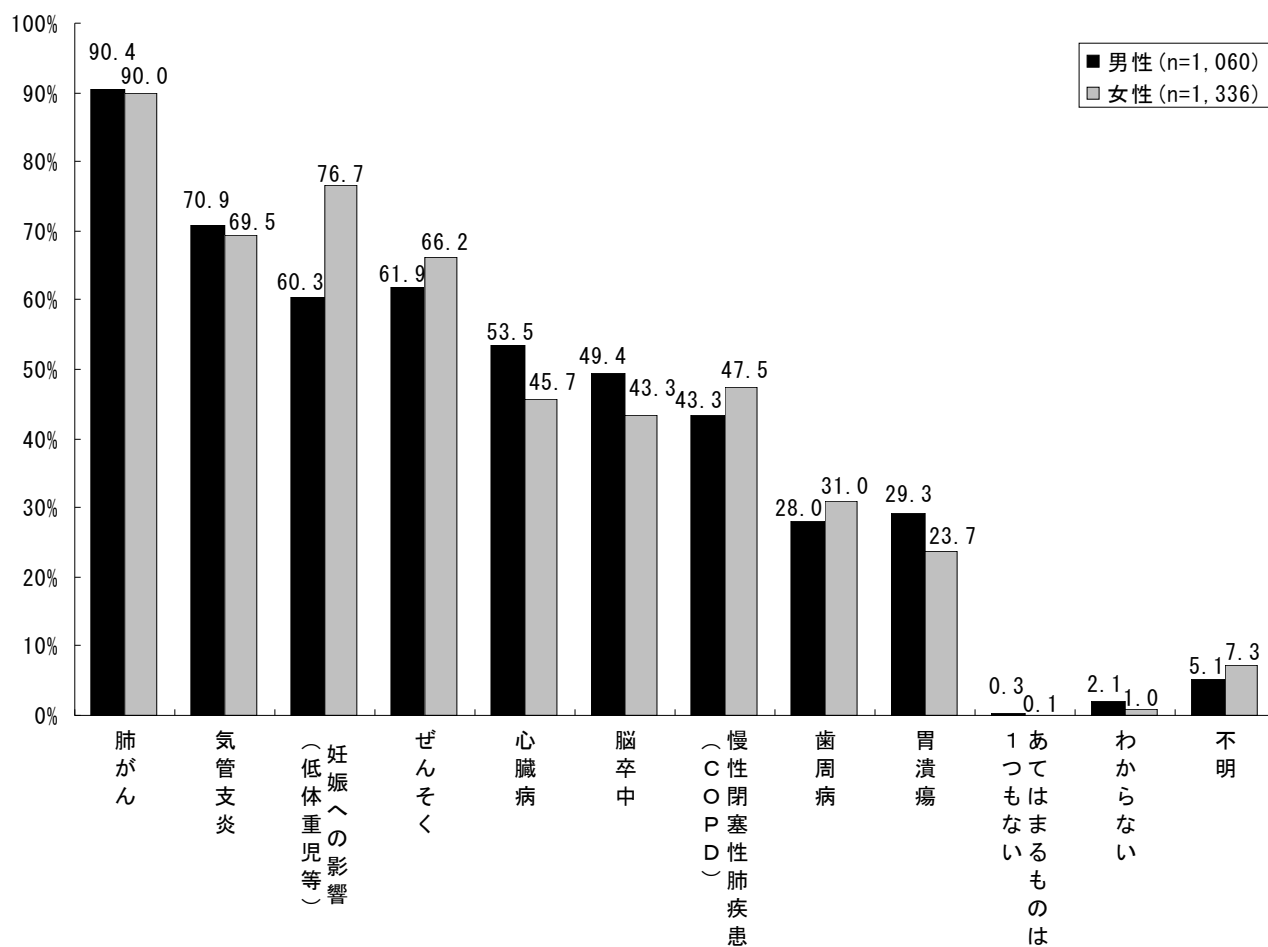
・今回調査より「慢性閉塞性肺疾患 (COPD)」が追加

[回答結果(詳細)]

たばこが健康へ及ぼす影響(たばこが起因となる病気)について伺ったものである。

- ▶ 最も多かったのが「肺がん」(90.1%)、以下、「気管支炎」(70.1%)、「妊娠への影響(低体重児等)」(69.3%)、「ぜんそく」(64.2%)と続く。
前回調査と比較すると、「肺がん」、「ぜんそく」、「気管支炎」で微増、その他の項目では減少しており、最も減少幅が多かった「心臓病」では4.7ポイント低くなっている。
- ▶ 男女別で見ると、男女共に最も多いのは「肺がん」であるが、次点を見ると、男性では「気管支炎」、女性では「妊婦への影響(低体重児等)」となっている。

【性別】

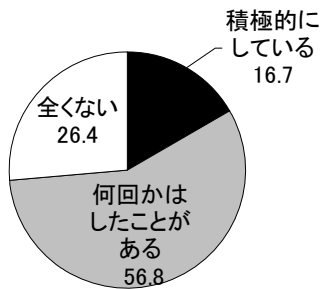


F3.（小・中・高校生がいる方）たばこの健康への影響の話

[設問]

Q 3 ご家族に、小学生・中学生・高校生のいる方だけに伺います。あなたは、たばこが健康に及ぼす影響についてお子さんと話をしたことがありますか。（○は1つ）

[回答結果(全体)]



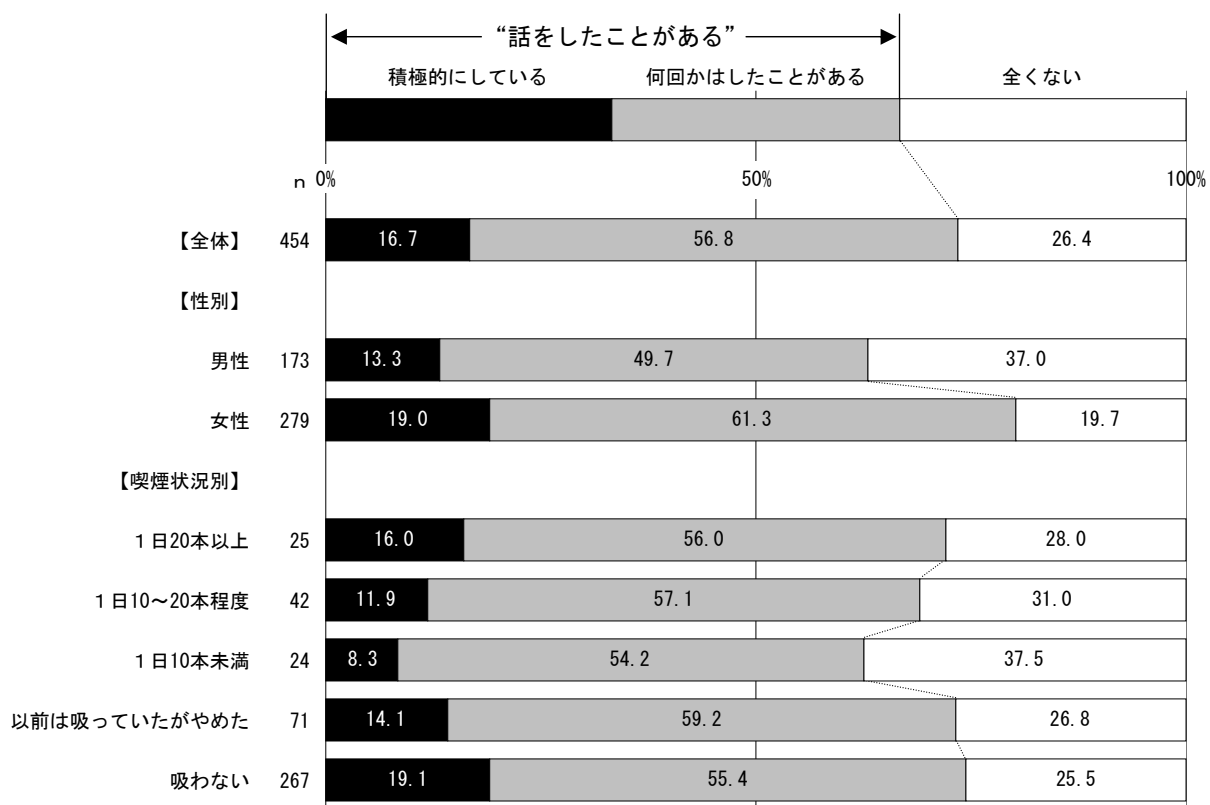
N=454人

回答	今回調査		前回調査 (平成17年)		前々回調査 (平成12年)	
	件数	%	件数	%	件数	%
積極的にしている	76	16.7	70	17.6	45	12.6
何回かはしたことがある	258	56.8	228	57.3	207	58.1
全くない	120	26.4	100	25.1	104	29.2
回答数	454	100.0	398	100.0	356	100.0

[回答結果(詳細)]

家族に小学生・中学生・高校生がいる方（計 454 人）に、たばこが健康に及ぼす影響についてお子さんと話をしたことがあるかどうか伺ったものである。

- ▶ “話をしたことがある”（「積極的にしている」＋「何回かはしたことがある」）割合は7割を超えている。一方、「全くない」は26.4%となっている。
- ▶ 男女別に見ると、“話をしたことがある”は女性の方で多く80.3%となっており、男性（63.0%）を17.3ポイント上回っている。
- ▶ 喫煙状況別に見ると、“話をしたことがある”割合は喫煙者で1日に吸う本数が多くなるにつれて高く、「以前は吸っていたがやめた」、「吸わない」とする非喫煙者では、共に7割を超えて高い割合となっている。

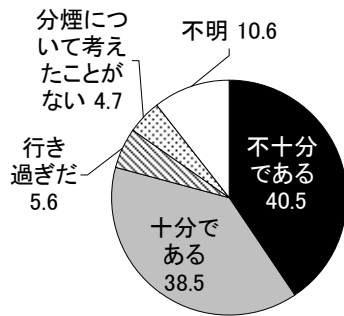


F4. 公共の場での分煙の状況について

[設問]

Q 4 あなたは、多数の人が利用する公共的な空間での分煙の状況についてどう思いますか。
(○は1つ)

[回答結果(全体)]



回答	今回調査		前回調査 (平成17年)		前々回調査 (平成12年)	
	件数	%	件数	%	件数	%
不十分である	974	40.5	450	18.5	528	23.1
			712	29.2	771	33.7
十分である	926	38.5	660	27.1	549	24.0
行き過ぎだ	135	5.6	91	3.7	44	1.9
分煙について考えたことがない	114	4.7	103	4.2	126	5.5
不明	256	10.6	421	17.3	270	11.8
回答数	2,405	100.0	2,437	100.0	2,288	100.0

N=2,405人

※選択項目が異なる。

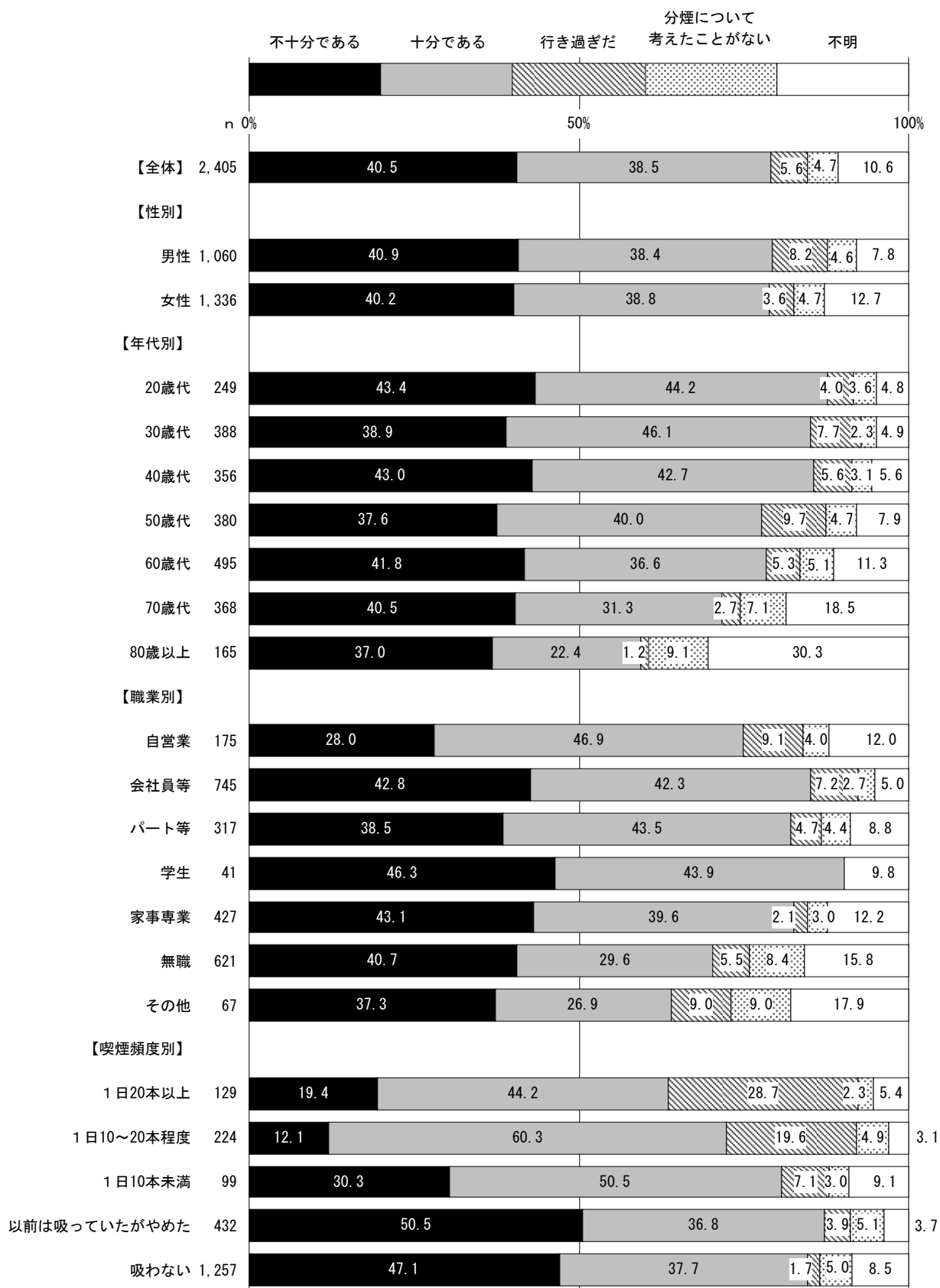
- ・前回・前々回調査にあった「もう少し進めるべきだ」、「だいたいこの程度でよい」を削除
- ・今回調査より「十分である」が追加

※「不十分である」の下段に前回・前々回調査の「もう少し進めるべきだ」を算入、今回調査より追加の「十分である」に「だいたいこの程度でよい」を読み替え。

[回答結果(詳細)]

公共の場での分煙状況についてどう思うか伺ったものである。

- ▶ 「不十分である」は40.5%で、「十分である」が38.5%、「行き過ぎだ」は5.6%となっている。前回調査と比較すると、「不十分である」が7.2ポイント減少し、「十分である」が11.4ポイント増加している。
- ▶ 男女別で見ると、「不十分である」は男女共に4割ほどとなっている。「行き過ぎだ」とする割合は男性が8.2%と、女性(3.6%)の倍以上となっている。
- ▶ 年代別に見ると、「不十分である」はすべての年代で4割前後となっており、「十分である」は概ね年代が上がるにつれて低くなる傾向にある。
- ▶ 職業別で見ると、「不十分である」は『自営業』を除くすべての職業で4割前後となっており、最も多い『学生』では46.3%となっている。
- ▶ 喫煙頻度別(喫煙の有無別)に見ると、概ね非喫煙者や喫煙頻度が少ない人ほど「不十分である」が多い。『1日20本以上』の人では、「行き過ぎだ」の割合が28.7%となっている。

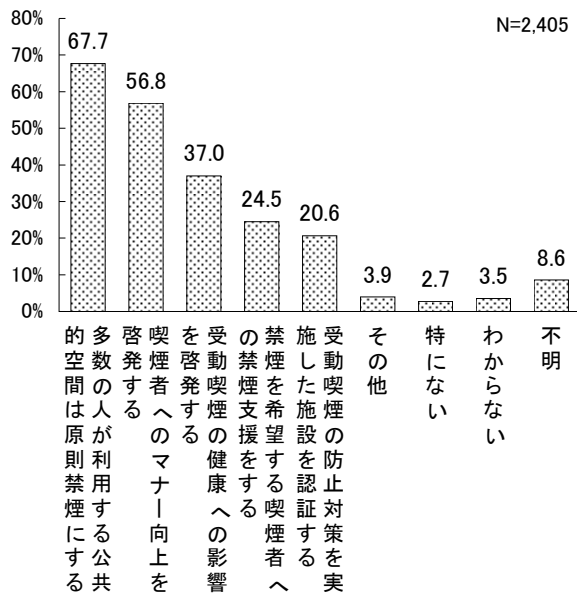


F5. 受動喫煙防止対策で望ましいと思う行政の取り組み

[設問]

Q 5 あなたは、今後の受動喫煙防止対策で、行政はどのような取り組みをすることが望ましいと思いますか。(〇はいくつでも(「7 特にない」「8 わからない」と回答する場合を除く))

[回答結果(全体)]



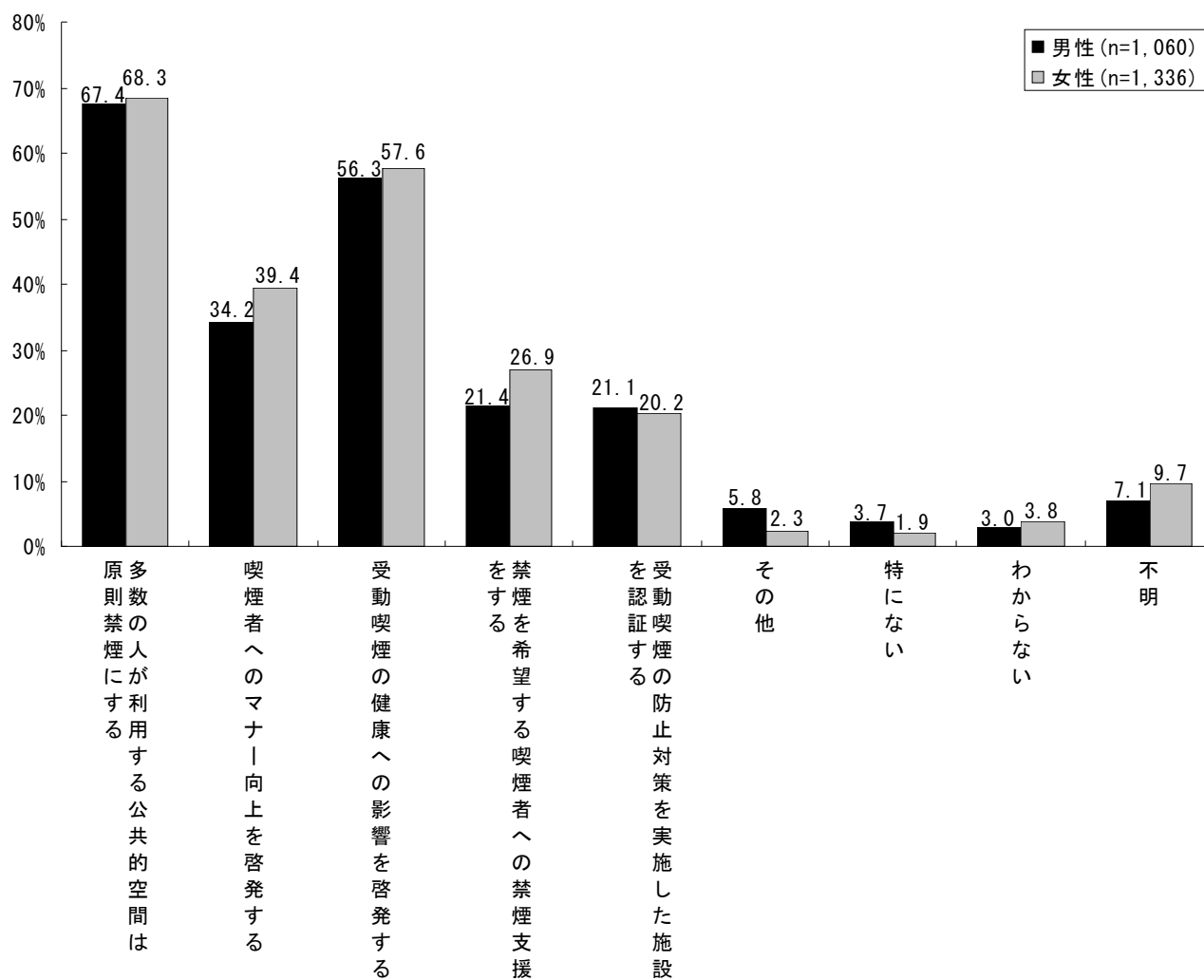
回答	今回調査	
	件数	%
多数の人が利用する公共的空間は原則禁煙にする	1,629	67.7
喫煙者へのマナー向上を啓発する	1,367	56.8
受動喫煙の健康への影響を啓発する	890	37.0
禁煙を希望する喫煙者への禁煙支援をする	590	24.5
受動喫煙の防止対策を実施した施設を認証する	495	20.6
その他	94	3.9
特にない	65	2.7
わからない	85	3.5
不明	207	8.6
回答数	2,405	100.0

[回答結果(詳細)]

今後の受動喫煙防止対策で望ましいと思う行政の取り組みについて伺ったものである。

- ▶ 「多数の人が利用する公共的空間は原則禁煙にする」が 67.7%で最も多く、以下、「喫煙者へマナー向上を啓発する」(56.8%)、「受動喫煙の健康への影響を啓発する」(37.0%)と続く。
- ▶ 男女別に見ると、概ね全ての項目で女性が男性よりも多く、中でも「禁煙を希望する喫煙者への禁煙支援をする」では 5.5 ポイント、「喫煙者へのマナーの向上を啓発する」では 5.2 ポイントそれぞれ上回っている。

【性別】



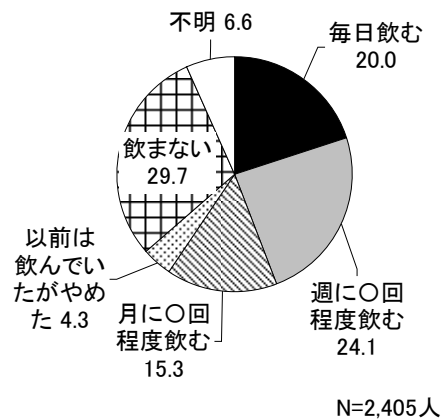
G アルコールについて

G1. お酒（アルコール類）を飲む頻度

[設問]

Q 1 あなたは、お酒（アルコール類）を飲みますか。（○は1つ。なお、「2」「3」に回答する場合は□に回数をご記入ください。）

[回答結果(全体)]



回答	今回調査		前回調査 (平成17年)		前々回調査 (平成12年)	
	件数	%	件数	%	件数	%
毎日飲む	481	20.0	523	21.5	451	19.7
週に○回程度飲む	579	24.1	549	22.5	578	25.3
月に○回程度飲む	369	15.3	340	14.0	366	16.0
以前は飲んでいましたがやめた	104	4.3	103	4.2	91	4.0
飲まない	714	29.7	859	35.2	754	33.0
不明	158	6.6	63	2.6	48	2.1
回答数	2,405	100.0	2,437	100.0	2,288	100.0

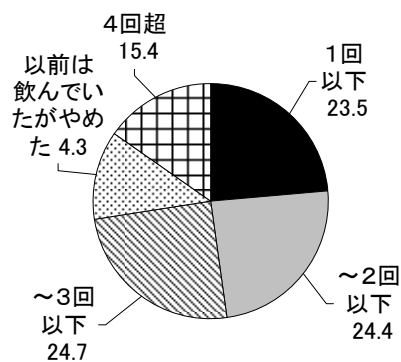
[回答結果(詳細)]

お酒を飲むかどうか、また飲む方についてはその頻度を伺ったものである。

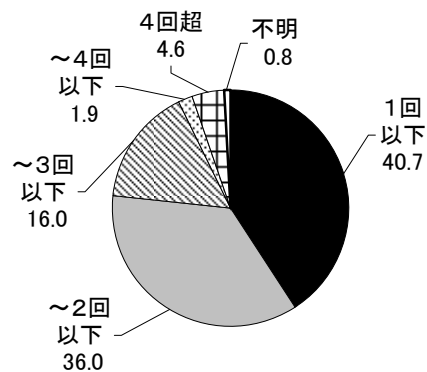
- ▶ 「飲まない」が 29.7%で最も多く、以下、「週に○回程度飲む」(24.1%)、「毎日飲む」(20.0%)と続く。“飲む”(「毎日飲む」+「週に○回程度飲む」+「月に○回程度飲む」)が 59.4%、“飲まない”(「飲まない」+「以前は飲んでいましたがやめた」)が 34.0%となっている。
前回調査と比較すると、「毎日飲む」は微減となっているが、“飲む”割合は 1.4 ポイント増加している。

※「週に○回程度飲む」、「月に○回程度飲む」と回答した方の“回数”については、次ページ上段の円グラフを参照

- ▶ 男女別に見ると、“飲む”は男性で 75.5%、女性で 47.0%となっている。「毎日飲む」は、男性では 3 割を超えている。一方、女性では「飲まない」が 4 割を超えている。
- ▶ 年代別に見ると、“飲む”は、最も多い 40 歳代 (72.5%) と最も少ない 80 歳以上 (22.4%) では、3 倍以上の差が出ている。「毎日飲む」は、50 歳代で最も多く 3 割を超えている。また、80 歳以上では“飲まない”割合が 5 割を超えている。
- ▶ 性別・年代別に見ると、“飲む”は、男性では 50 歳代をピークとして以降年代が高くなるほど割合が低くなる傾向にあり、女性では若い年代ほど割合が高い傾向にある。



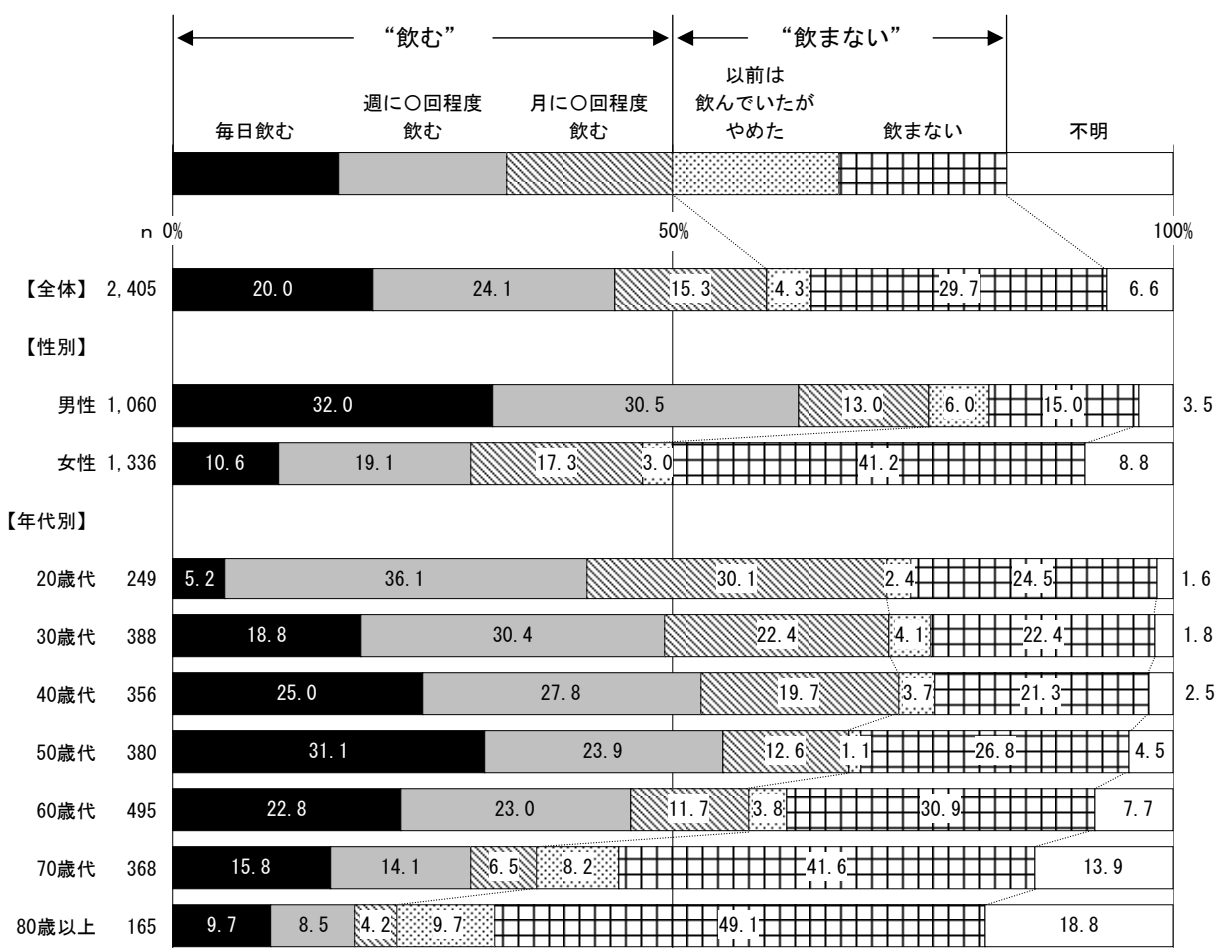
N=579人

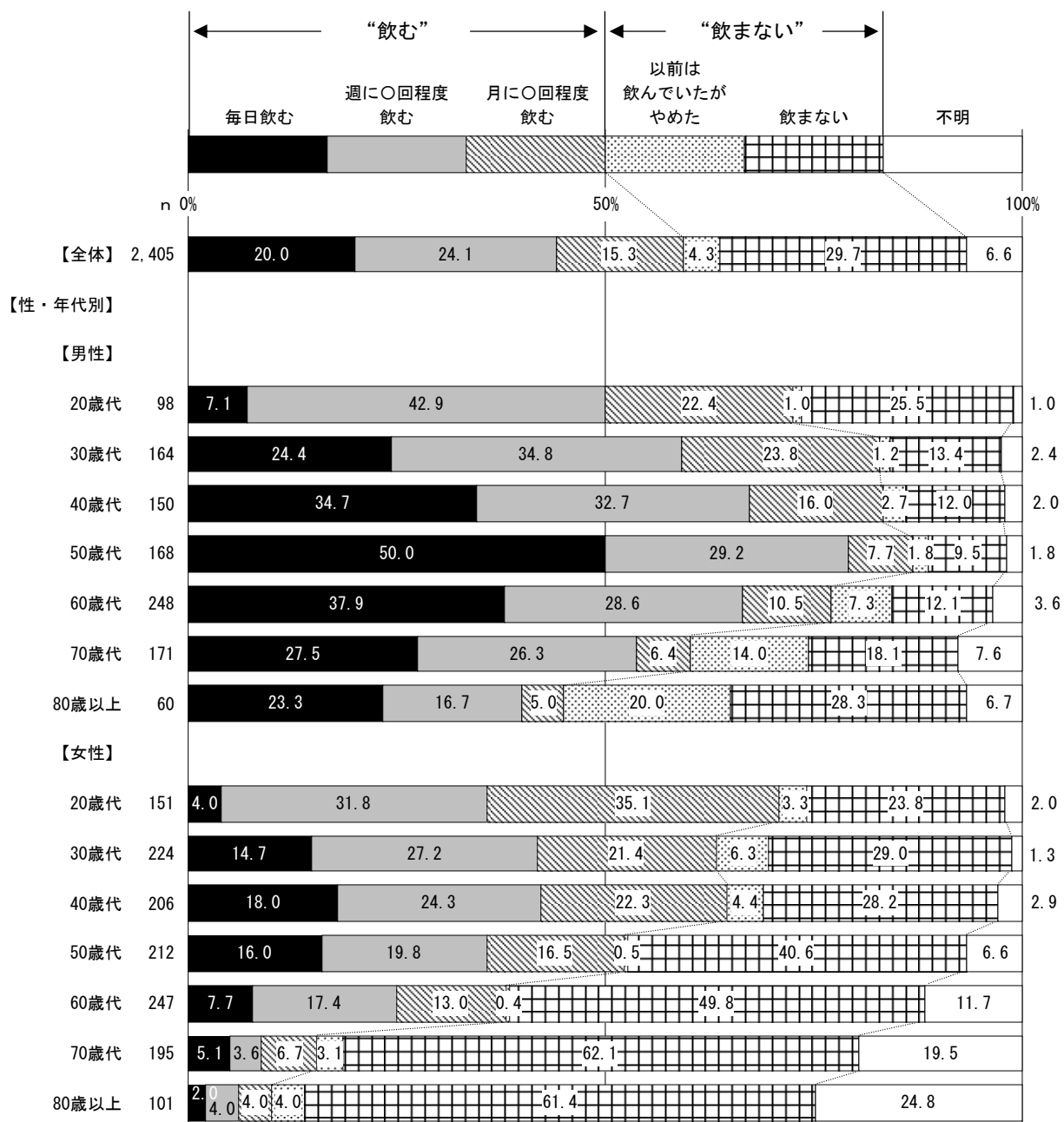


N=369人

週に〇回程度飲む

月に〇回程度飲む



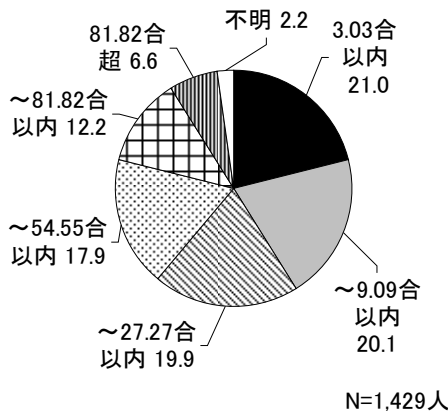


GS1①-月間飲酒量（推計）

【設問】

S Q 1 ① Q 1で「1」「2」「3」と回答した方にも伺います。あなたは、1回当たりどのくらいの量を飲みますか。ご面倒でも日本酒に換算の上、□にご記入ください。

【回答結果(全体)】



回答	今回調査		前回調査 (平成17年)		前々回調査 (平成12年)	
	件数	%	件数	%	件数	%
3.03合以内	300	21.0	308	21.8	350	25.1
~9.09合以内	287	20.1	229	16.2	280	20.1
~27.27合以内	285	19.9	358	25.4	304	21.8
~54.55合以内	256	17.9	204	14.4	213	15.3
~81.82合以内	175	12.2	170	12.0	140	10.0
81.82合超	94	6.6	110	7.8	86	6.2
不明	32	2.2	33	2.3	22	1.6
回答数	1,429	100.0	1,412	100.0	1,395	100.0

※上記数値はひと月あたりの飲酒量

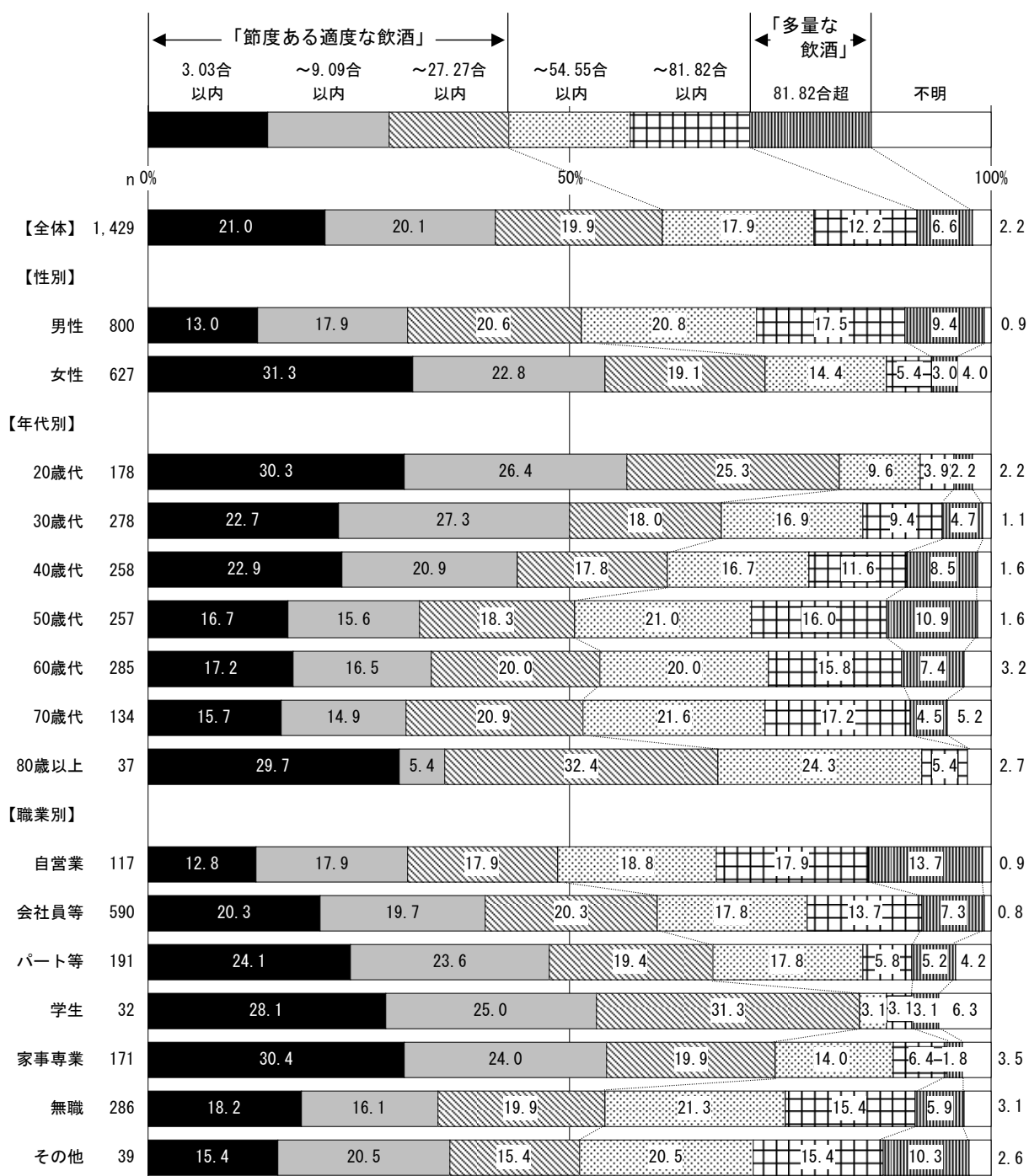
- ・節度ある適度な飲酒：月間換算 27.27 合以内
- ・多量な飲酒：月間換算 81.82 合超

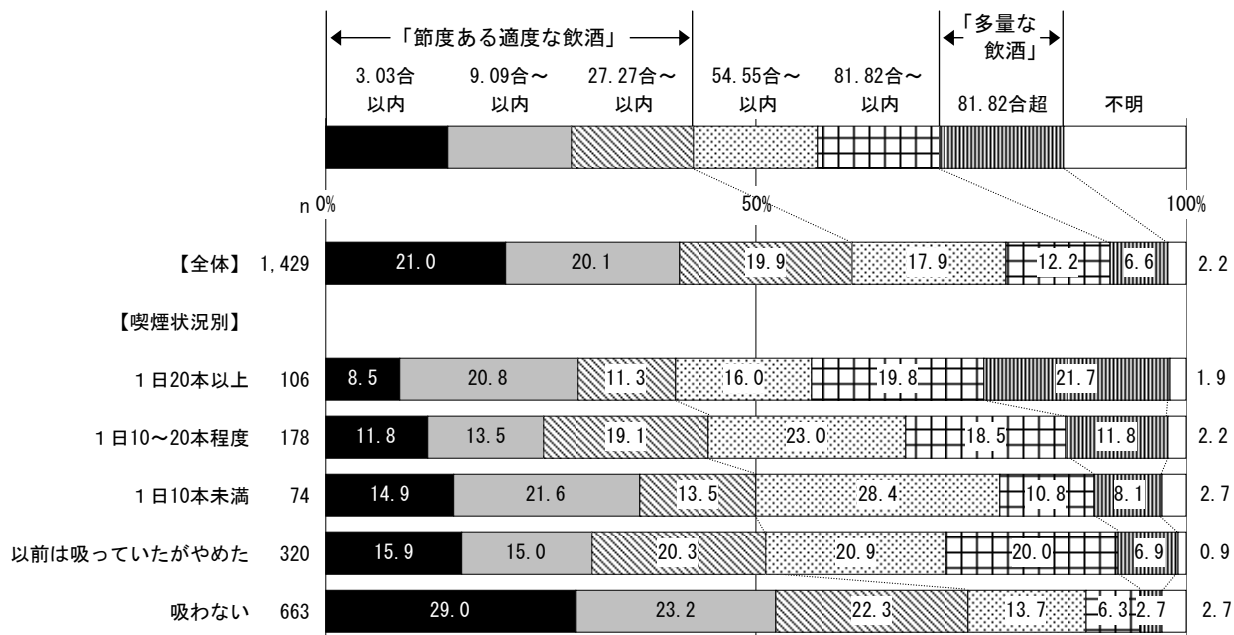
【回答結果(詳細)】

Q 1で、お酒（アルコール類）を飲むと回答した方に対し、その頻度と、1回当たりどのくらいの量を飲むか聞き、日本酒に換算して月間の飲酒量を推計したものである。

なお、「節度ある適度な飲酒」（1日平均純アルコール 20g）は月間換算で 27.27 合となり、「多量な飲酒」（1日平均純アルコール 60g 超）を毎日すると、月間換算で 81.82 合超となる。

- ▶ お酒（アルコール類）を飲むと回答した方（計 1,429 人）を基に算出すると、ひと月当たりの飲酒量が 27.27 合以内の「節度ある適度な飲酒」は 61.0% となっており、81.82 合超の「多量な飲酒」は 6.6% となっている。
- ▶ 男女別に見ると、「節度ある適度な飲酒」は男性で 51.5%、女性で 73.2% と、女性の方が高い。逆に、「多量な飲酒」は、女性が 3.0% であるのに対し男性では 9.4% となっている。
- ▶ 年代別に見ると、年代が若いほど「節度ある適度な飲酒」の割合が多く、20 歳代では 82.0% となっている。一方、「多量な飲酒」の割合は 50 歳代で高く、10.9% となっている。
- ▶ 職業別に見ると、『自営業』では「節度ある適度な飲酒」である割合が 48.6% と全職業中最も少なく、それ以上の飲酒量である割合が高い。
- ▶ 喫煙頻度別（喫煙の有無別）に見ると、喫煙頻度が少ない（吸わない）方ほど「節度ある適度な飲酒量」に収まっており、『1日 20 本以上』で 40.6% であるのに対し、『吸わない』では倍近くの 74.5% となっている。一方、27.27 合超の方は喫煙頻度が高い方に多く見られ、『1日 20 本以上』では 57.5%、その中でも「多量な飲酒」である 81.82 合超の割合は 2 割を超えている。





【“多量な飲酒”(「月間換算で82.82合超」)／経年比較】

【性・年代別】

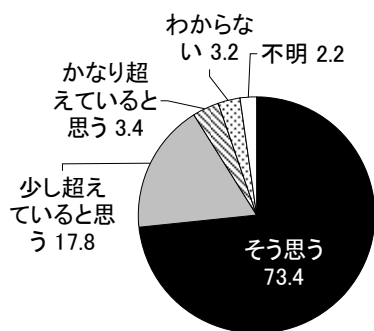
	今回調査		前回調査 (平成17年)		前々回調査 (平成12年)	
	件数	%	件数	%	件数	%
全体	94	6.6	110	7.8	86	6.2
20歳代	4	2.2	5	2.4	10	3.8
30歳代	13	4.7	18	6.4	11	4.2
40歳代	22	8.5	31	12.3	22	8.3
50歳代	28	10.9	30	9.8	24	8.2
60歳代	21	7.4	19	8.6	16	9.0
70歳代	6	4.5	7	5.9	3	2.7
80歳以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0
男性	75	9.4	98	12.6	74	10.1
20歳代	2	2.8	3	3.5	7	7.3
30歳代	6	4.4	14	11.2	11	9.2
40歳代	16	12.8	28	21.7	16	12.4
50歳代	24	16.4	27	14.4	22	12.9
60歳代	21	11.0	19	13.1	15	13.2
70歳代	6	5.8	7	8.1	3	3.4
80歳以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0
女性	19	3.0	12	1.9	12	1.8
20歳代	2	1.9	2	1.7	10	5.9
30歳代	7	4.9	4	2.6	11	7.7
40歳代	6	4.5	3	2.5	22	16.1
50歳代	4	3.6	3	2.5	24	20.0
60歳代	0	0.0	0	0.0	16	25.4
70歳代	0	0.0	0	0.0	3	13.6
80歳以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0

GS1②. 節度ある適度な飲酒量と思うか

[設問]

S Q 1② Q 1で「1」「2」「3」と回答した方のみに伺います。あなたの飲酒は、適度な飲酒量におさまっていると思いますか。(〇は1つ)

[回答結果(全体)]



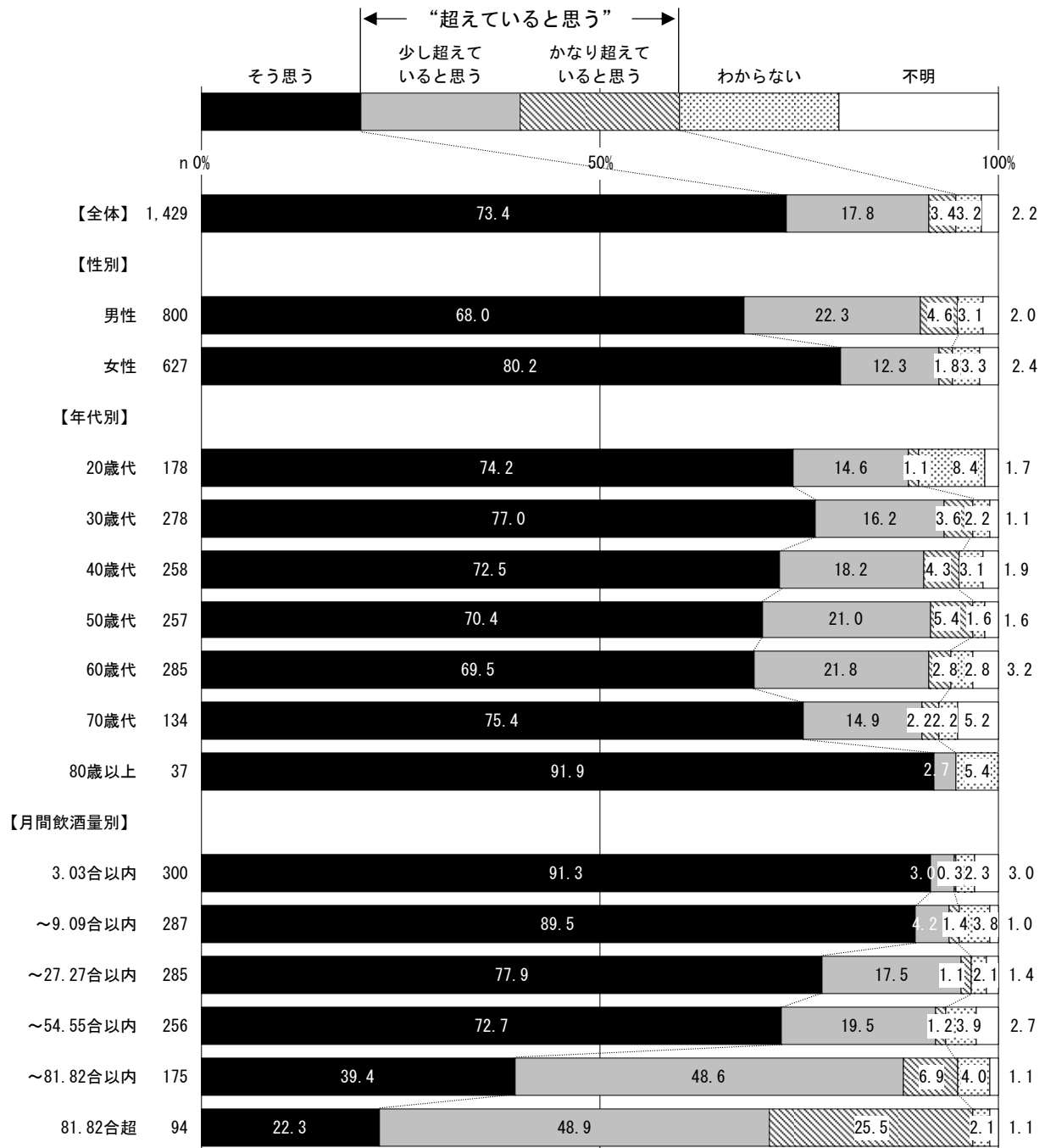
N=1,429人

回答	今回調査		前回調査 (平成17年)		前々回調査 (平成12年)	
	件数	%	件数	%	件数	%
そう思う	1,049	73.4	1,009	71.5	1,048	75.1
少し超えていると思う	255	17.8	274	19.4	244	17.5
かなり超えていると思う	48	3.4	49	3.5	46	3.3
わからない	46	3.2	32	2.3	33	2.4
不明	31	2.2	48	3.4	24	1.7
回答数	1,429	100.0	1,412	100.0	1,395	100.0

[回答結果(詳細)]

Q 1で、お酒（アルコール類）を飲むと回答した方に対し、節度ある適度な飲酒量に収まっているかどうか伺ったものである。

- ▶ 「そう思う」との認識を持っている方は 73.4%となっている。一方、“超えていると思う”（「かなり超えていると思う」＋「少し超えていると思う」）との認識を持っている方は 21.2%となっている。
- ▶ 男女別に見ると、「そう思う」との回答は女性の方が 12.2 ポイント高いが、“超えていると思う”は男性で 26.9%と、女性（14.1%）のおよそ2倍となっている。
- ▶ 年代別に見ると、どの年代も「そう思う」が最も多いが、40～60歳代ではその割合がやや低い。
- ▶ 月間の飲酒量別に見ると、27.27 合以内の『節度ある程度な飲酒』で「そう思う」と回答している方（実態と認識が一致している方）は 86.2%となっている。一方、これより飲酒量の多い方では、実態と認識の間にズレが見られ、特に 81.82 合超の『多量な飲酒』の方では、「そう思う」、「少し超えていると思う」を合わせると 71.2%となっており、「かなり超えている」と認識している割合は 25.5%となっている。

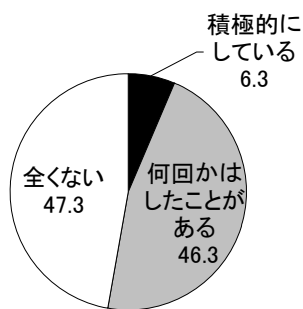


G2. (小・中・高校生がいる方) 飲酒の健康への影響の話

[設問]

Q 2 ご家族に、小学生・中学生・高校生がいる方の方に伺います。あなたは、飲酒が健康に及ぼす影響についてお子さんと話をしたことがありますか。(○は1つ)

[回答結果(全体)]



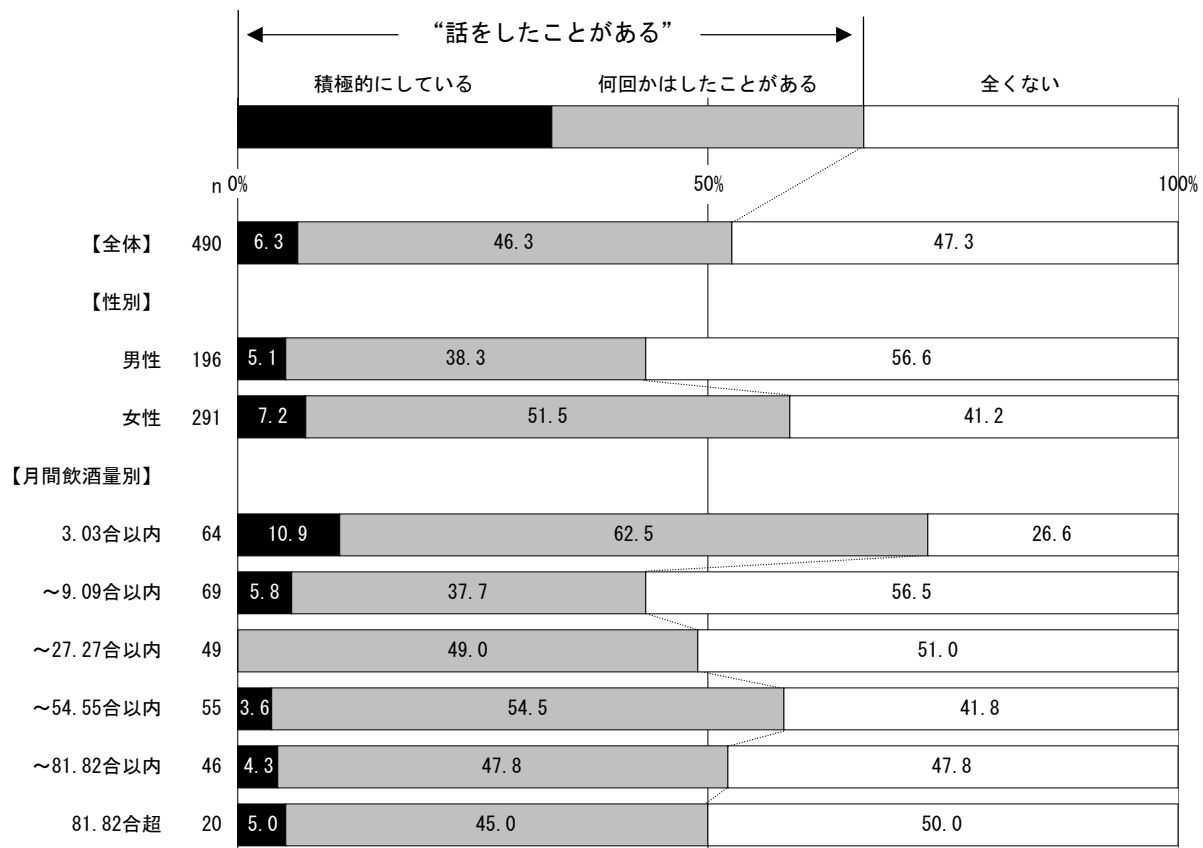
N=490人

回答	今回調査		前回調査 (平成17年)		前々回調査 (平成12年)	
	件数	%	件数	%	件数	%
積極的にしている	31	6.3	39	10.3	28	8.3
何回かはしたことがある	227	46.3	193	51.1	164	48.7
全くない	232	47.3	146	38.6	145	43.0
回答数	490	100.0	378	100.0	337	100.0

[回答結果(詳細)]

家族に小学生・中学生・高校生がいる方（回答者は 490 人）に、飲酒が健康に及ぼす影響について子供と話をしたことがあるかどうか伺ったものである。

- ▶ “話をしたことがある”（「積極的にしている」＋「何回かはしたことがある」）割合は 52.7%、「全くない」は 47.3%となっている。
前回調査と比較すると、“話をしたことがある”は 8.8 ポイント減少している。
- ▶ 男女別に見ると、“話をしたことがある”は男性で 43.4%、女性で 58.7%となっており、女性の方で 15.3 ポイント高くなっている。
- ▶ 月間の飲酒量別に見ると、“話をしたことがある”割合が『3.03 合以内』では 7 割を超えるが (73.4%)、それ以外の飲酒量では 5 割前後にとどまる。



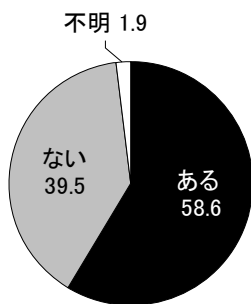
H 歯と口の健康について

H1. かかりつけの歯科医院はあるか

[設問]

Q 1 定期健診や歯石除去などの予防処置を受けている、かかりつけの歯科医院はありますか。(○は1つ)

[回答結果(全体)]



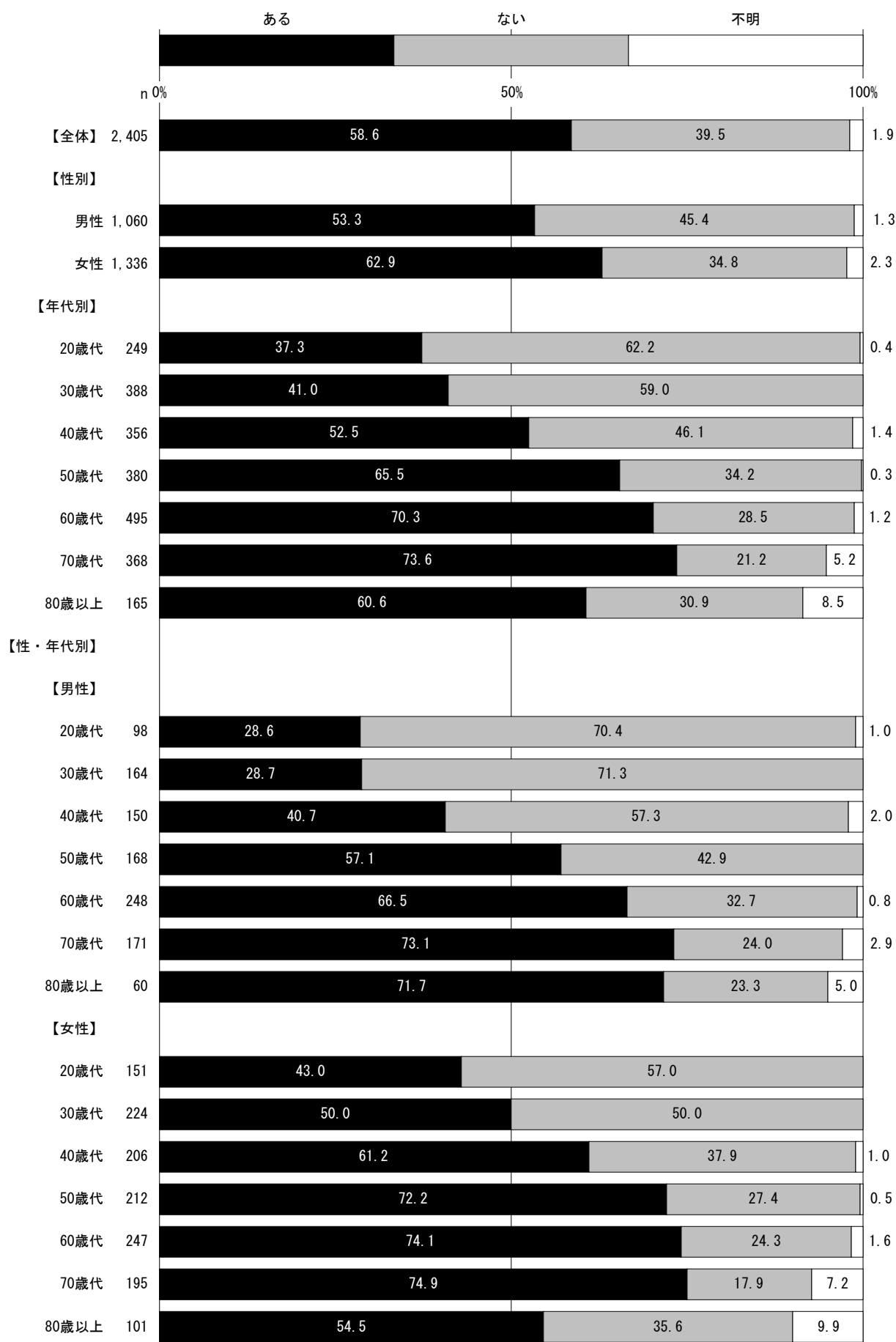
N=2,405人

回答	今回調査		前回調査 (平成17年11月)	
	件数	%	件数	%
ある	1,409	58.6	1,334	54.7
ない	950	39.5	1,043	42.8
不明	46	1.9	60	2.5
回答数	2,405	100.0	2,437	100.0

[回答結果(詳細)]

定期健診や歯石除去などの予防処置を受けている、かかりつけの歯科医院があるか伺ったものである。

- ▶ かかりつけの歯科医院が「ある」と回答した方は 58.6%となっている。
前回調査と比較すると、「ある」と回答した方は 3.9 ポイント増加、「ない」と回答した方は 3.3 ポイント減少している。
- ▶ 男女別に見ると、「ある」と回答した方は男性で 53.3%、女性で 62.9%と女性の方が 9.6 ポイント高くなっている。
- ▶ 年代別に見ると、概ね年代が上がるにつれて「ある」の割合が高く、60・70 歳代では7割を超えている。逆に、最も若い20 歳代では「ない」が 62.2%となっている。
- ▶ 性別・年代別に見ると、男女共に 70 歳代をピークとして年代が上がるほど「ある」の割合が高くなる傾向にある。80 歳以上を除く年代で男性より女性の割合が高く、特に 30 歳代では 21.3 ポイント、40 歳代では 20.5 ポイントの差が見られる。

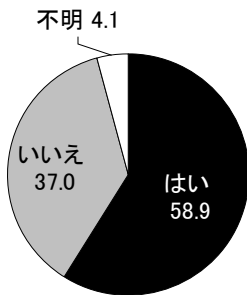


H2. 最近 1 年間に歯科医院に行ったか

[設問]

Q 2 最近 1 年間に歯科医院に行かれましたか。(○は 1 つ)

[回答結果(全体)]



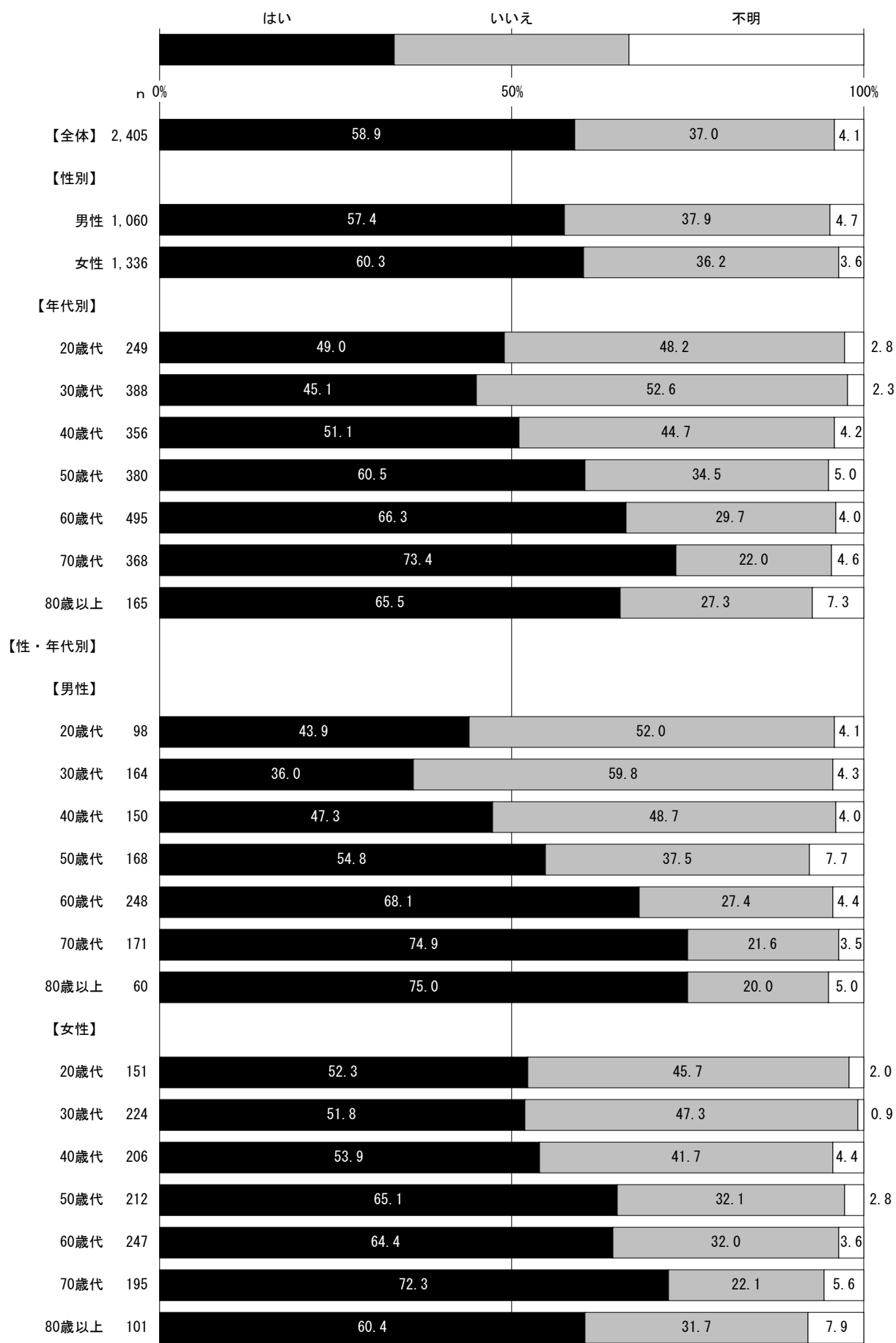
N=2,405人

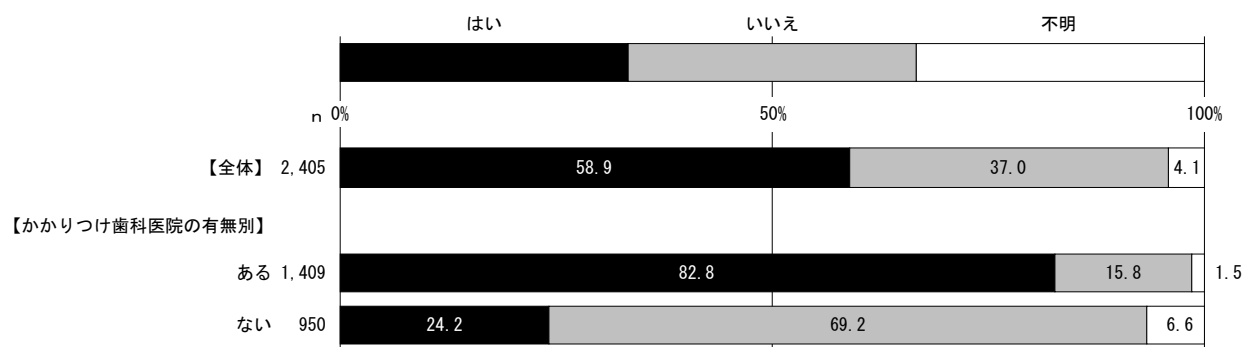
回答	今回調査		前回調査 (平成17年)	
	件数	%	件数	%
はい	1,417	58.9	1,382	56.7
いいえ	889	37.0	1,014	41.6
不明	99	4.1	41	1.7
回答数	2,405	100.0	2,437	100.0

[回答結果(詳細)]

最近 1 年間に歯科医院に行ったかどうか伺ったものである。

- ▶ 「はい (行った)」と回答した方は **58.9%** となっている。
前回調査と比較すると、「はい (行った)」と回答した方は **2.2** ポイント増加、「いいえ (行っていない)」と回答した方は **4.6** ポイント減少した。
- ▶ 男女別で見ると、「はい (行った)」と回答した方は男女共に 6 割前後となっており、女性の方が若干その割合が高い。
- ▶ 年代別に見ると、80 歳以上でやや低くなるものの、全体としては年代が上がるほど「はい (行った)」の割合が多くなる傾向にあり、最も多い 70 歳代 (73.4%) と最も少ない 30 歳代 (45.1%) では **28.3** ポイントの差がある。
- ▶ 性別・年代別で見ると、男女共に概ね年代が上がるほど「はい (行った)」が高く、最も多い男性 80 歳以上 (75.0%) と、最も少ない男性 30 歳代 (36.0%) では **39.0** ポイントの差がある。
- ▶ かかりつけの歯科医院の有無別に見ると、かかりつけ歯科医院が「ある」とした人で「はい」(行った) とした割合が高く、**82.8%** となっている。



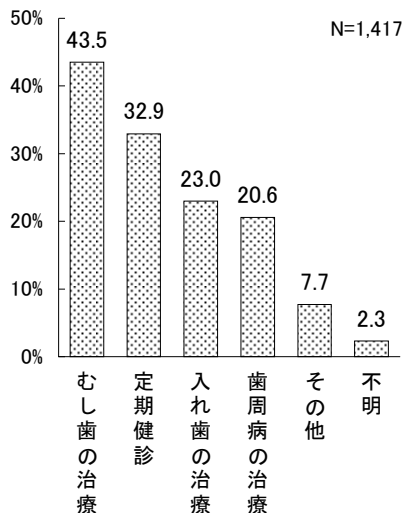


HS2. 歯科医院に行った理由

[設問]

S Q 2 Q 2で「1」と回答した方のみ伺います。あなたが、歯科医院に行かれた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

[回答結果(全体)]



回答	今回調査		前回調査 (平成17年11月)	
	件数	%	件数	%
むし歯の治療	617	43.5	※1,033	※74.7
定期健診	466	32.9	314	22.7
入れ歯の治療	326	23.0	—	—
歯周病の治療	292	20.6	—	—
その他	109	7.7	79	5.7
不明	33	2.3	54	3.9
回答数	1,417	100.0	1,382	100.0

※選択項目が異なる。

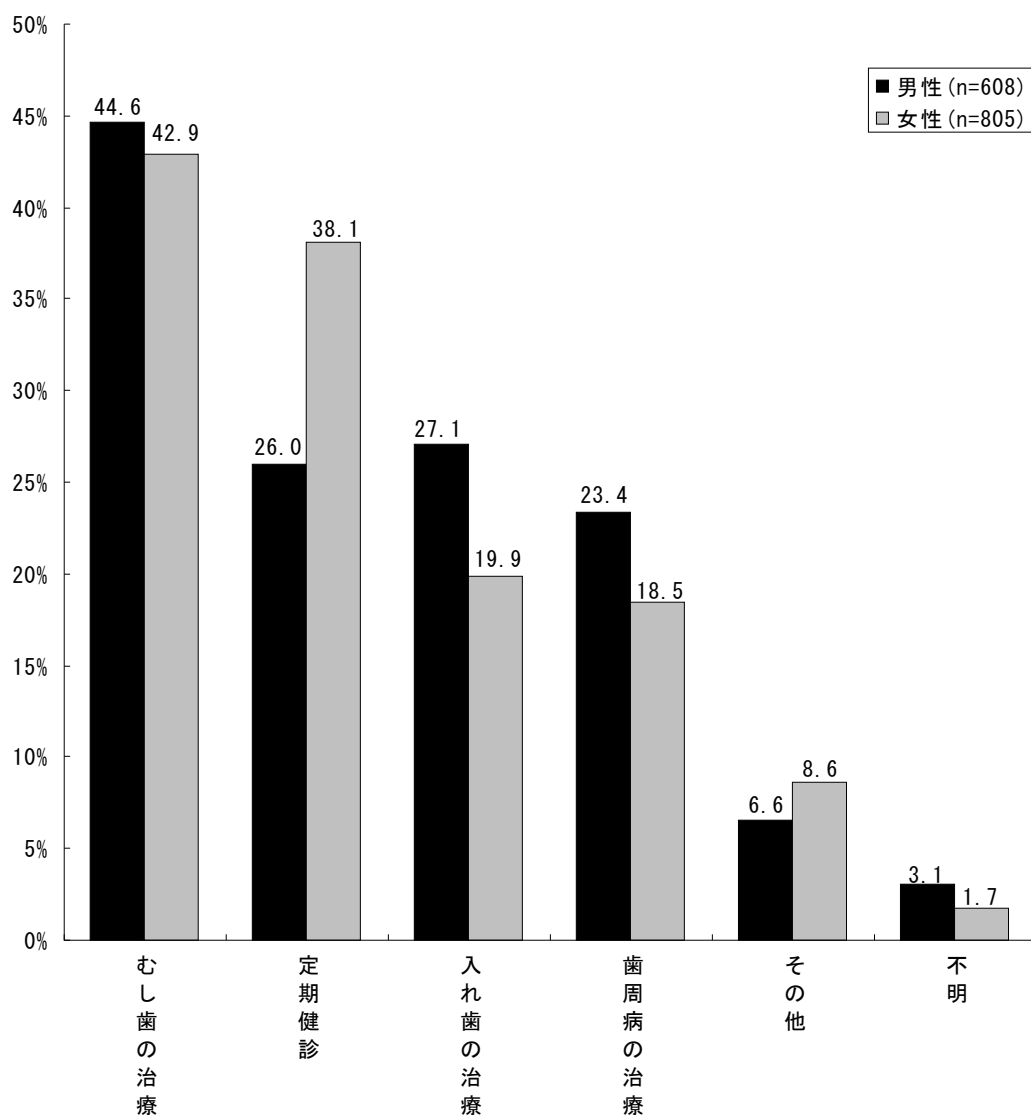
・前回調査では「むし歯・歯周病・入れ歯の治療」で1つの選択肢

[回答結果(詳細)]

前Q 2で、最近1年間に歯科医院に“行った”(「はい」)と回答した方に、通院の理由を伺ったものである。

- ▶ 「むし歯の治療」が最も多く 43.5%、以下、「定期健診」(32.9%)、「入れ歯の治療」(23.0%)、「歯周病の治療」(20.6%)と続く。
前回調査と比較すると、選択肢が異なるが、今回“何らかの治療(「むし歯の治療」+「歯周病の治療」+「入れ歯の治療」)”を理由とする割合は 87.1%となっており、12.4ポイント増加している。また、「定期健診」も 10.2ポイント増加している。
- ▶ 男女別に見ると、治療に関する選択項目に関しては、「むし歯の治療」「歯周病の治療」「入れ歯の治療」3項目とも男性が女性を上回り、特に「入れ歯の治療」では 7.2ポイント高い。「定期健診」の割合は女性が男性よりも 12.1ポイント高い。

【性別】

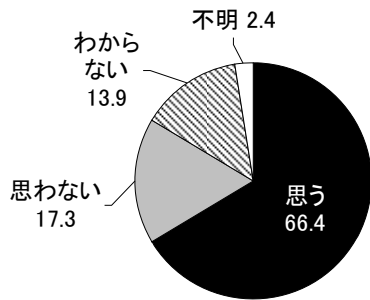


H3. 歯や歯ぐきの病気予防が自分でできると思うか

[設問]

Q 3 歯や歯ぐきの病気は、ご自身で予防することができると思いますか。(○は1つ)

[回答結果(全体)]



N=2,405人

回答	今回調査		前回調査 (平成17年11月)	
	件数	%	件数	%
思う	1,598	66.4	1,662	68.2
思わない	416	17.3	370	15.2
わからない	334	13.9	339	13.9
不明	57	2.4	66	2.7
回答数	2,405	100.0	2,437	100.0

[回答結果(詳細)]

歯や歯ぐきの病気は自分で予防することができると思うか伺ったものである。

- ▶ 「思う」と回答した方が 66.4%を占めている。
前回調査と比較すると、大きな変化は見られない。
- ▶ 男女別で見ると、男女共「思う」が6割を超えている。
- ▶ 年代別に見ると、「思う」は20～50歳代では7割以上あるが、それ以上の年代では徐々に減少している。
- ▶ 性別・年代別に見ると、「思う」は、80歳以上を除くすべての年代において、女性の方が高くなっている。
- ▶ かかりつけの歯科医院の有無別に見ると、かかりつけ歯科医院が『ある』と回答した人で「思う」の割合が高く、『ない』人とは13.6ポイントの差が見られる。一方、『ある』と回答した人で「思わない」は15.2%であった。
- ▶ 最近1年の歯科医院通院経験の有無別に見ると、『はい』(通院経験あり)とした人で「思う」の割合が高く73.3%となっている。また、『いいえ』(通院経験なし)とした人でも「思う」の割合が58.3%となっている。

